

NPO・地域づくり団体の経営資源〈ヒト・モノ・カネ〉
の調達活動に関するアンケート調査

報告書

平成 29 年 3 月 31 日

株式会社 山陰経済経営研究所

目次

I. 調査の概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査概要.....	1
II. アンケート結果.....	2
1. 回答団体の属性.....	2
(1) 回答団体の所在地.....	2
(2) 回答団体の種類.....	3
(3) 回答団体の職員数.....	4
(4) 回答団体の主な活動分野 (MA)	5
(5) 回答団体の事業規模 (年間収益)	6
2. 経営資源 (ヒト) について.....	7
(1) 会員数と一人当たりの年会費.....	7
(2) 会員募集の活動.....	9
(3) 1年前と比較した会員数の動向.....	9
(4) 会員募集に対する今後の意向.....	10
(5) 役員数と役員の年齢ごとの内訳.....	11
(6) 職員数.....	16
(7) UI ターン者について.....	18
(8) ボランティアの受入の有無、受入実績.....	21
(9) ボランティア募集活動.....	27
(10) ボランティア受入者数の動向.....	29
(11) ボランティア募集活動に対する今後の意向.....	30
(12) 今後の人材確保で必要とするスキル・ノウハウ・人材.....	31
3. 経営資源 (モノ) について.....	33
(1) 物品受入の有無.....	33
(2) 物品の受入動向の変化.....	36
(3) 物品受入に対する今後の意向.....	37
4. 経営資源 (カネ) について.....	41
(1) 財務状況について.....	41
(2) 活動資金の充足について.....	49
(3) 不足している活動資金.....	50
(4) 資金調達活動の実施状況.....	56
(5) 資金調達活動の今後の意向.....	61
(6) 寄付の受領の有無.....	66
(7) 寄付の受領金額.....	67
(8) 寄付金調達活動の実施状況.....	70
(9) 寄付金額の動向.....	73
(10) 寄付金調達活動の今後の意向.....	74

5. 企業との連携、経営資源の調達活動.....	75
(1) 企業との連携	75
(2) 経営資源の調達活動に関する意見	81

1. 調査の概要

1. 調査の目的

現在、島根県内の地域を取り巻く現状は、若年層を中心とした人口の流出、高齢化による地域運営の担い手不足、地域コミュニティや買い物など日常生活に必要な機能・サービスの維持が困難となるなど、課題が山積している。

このような状況の中、地域の課題解決に取り組む NPO や地域づくり団体は、活動を継続していくための経営資源、いわゆる「ヒト」「モノ」「カネ」が不足していると言われている。しかし、このことは一般論として語られることが多く、実際の状況を調査したデータを分析し、現状を把握する機会が少なかった。

そこで、このたび本調査を実施し、NPO 法人や地域づくり団体の経営資源の調達に関する実態や意識等について調査・分析し、今後の施策を考える上での参考にするとともに、地域の課題解決のための活動がより効率的・効果的に展開することを目的とする。

2. 調査概要

本調査では、島根県内の NPO や地域づくり団体の経営資源の調達活動の実態と意識等を調査するため、島根県内の NPO 法人および当財団に登録されている地域づくり団体を対象にアンケート調査を実施した。

- 調査概要 島根県内の NPO 法人、地域づくり団体を対象に、経営資源の調達活動の実態と意識等を聴取する。
- 調査方式 郵送方式により配布・回収
- 配布先 島根県内の NPO 法人（276 団体）、地域づくり団体（294 団体）
- 有効回収 172 件（有効回収率 30.2%）

II. アンケート結果

1. 回答団体の属性

(1) 回答団体の所在地

回答団体の所在地は、図表Ⅱ-1の通り、「松江市」が最も多く、次いで「出雲市」の順となっており、この2市で全体の47.1%を占めている。以下、「雲南市」、「大田市」、「浜田市」、「益田市」と続いており、これらの4市は大差がない。

これ以降の集計では、県内で人口の多い松江市と出雲市を合わせた地域と、それ以外の地域に分けたクロス集計も行う。

図表Ⅱ-1 回答団体の所在地 (SA)

回答	件数	構成比
松江市	48	27.9%
浜田市	13	7.6%
出雲市	33	19.2%
益田市	12	7.0%
大田市	14	8.1%
安来市	9	5.2%
江津市	2	1.2%
雲南市	15	8.7%
奥出雲町	5	2.9%
飯南町	6	3.5%
川本町	0	0.0%
美郷町	0	0.0%
邑南町	2	1.2%
津和野町	2	1.2%
吉賀町	3	1.7%
海士町	1	0.6%
西ノ島町	0	0.0%
知夫村	0	0.0%
隠岐の島町	6	3.5%
不明	1	0.6%
合計	172	100.0%

注1) 本報告書において“SA”、“MA”、“NA”は
SA：単一回答のこと (Single Answer の略)
MA：複数回答のこと (Multiple Answer の略)
NA：数量回答 (任意に数値を記入する回答) のこと (Numerical Answer の略)
を示す。

注2) 表中にある「不明」は無効回答、あるいは無記入のサンプル

(2) 回答団体の種類

回答団体の種類をみると、「NPO 法人」が最も多く、これについて「任意団体」の順となっている。

所在地別にみると、松江・出雲では、NPO 法人が 8 割を占めている。

なお、これ以降の集計では、NPO 法人を“NPO 法人”、NPO 法人以外の団体の合計を“その他”として集計する。

図表Ⅱ-2 回答団体の種類 (SA)

回答	全体		所在地					
			松江・出雲		その他の市町村		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
NPO法人	117	68.0%	66	81.5%	50	55.6%	1	100.0%
その他	55	32.0%	15	18.5%	40	44.4%	0	0.0%
一般社団法人	1	0.6%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%
株式会社	6	3.5%	1	1.2%	5	5.6%	0	0.0%
任意団体	37	21.5%	13	16.0%	24	26.7%	0	0.0%
その他	10	5.8%	1	1.2%	9	10.0%	0	0.0%
不明	1	0.6%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%
合計	172	100.0%	81	100.0%	90	100.0%	1	100.0%

(3) 回答団体の職員数

回答団体の職員数について、「有給職員（常勤）」、「無給職員（常勤）」、「有給職員（非常勤）」、「無給職員（非常勤）」の4項目を尋ねている。この4項目を団体ごとに集計したところ、151団体がいずれかの項目を記入しており、職員数の総計は1,344人、数値を記入した151団体の1団体あたりの平均は、8.9人となった。

また、カテゴリー別をみると、「5人以上10人未満」が最も多く、これに「3人未満」、「10人以上」とつづく。

図表Ⅱ-3 回答団体の職員数－団体種類（NA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0人	26	15.1%	9	7.7%	17	30.9%
3人未満	35	20.3%	32	27.4%	3	5.5%
3人以上5人未満	17	9.9%	12	10.3%	5	9.1%
5人以上10人未満	44	25.6%	29	24.8%	15	27.3%
10人以上	29	16.9%	26	22.2%	3	5.5%
不明	21	12.2%	9	7.7%	12	21.8%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

図表Ⅱ-4 回答団体の職員数－所在地（NA）

回答	全体		所在地					
			松江・出雲		その他の市町村		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0人	26	15.1%	11	13.6%	15	16.7%	0	0.0%
3人未満	35	20.3%	22	27.2%	13	14.4%	0	0.0%
3人以上5人未満	17	9.9%	7	8.6%	9	10.0%	1	100.0%
5人以上10人未満	44	25.6%	20	24.7%	24	26.7%	0	0.0%
10人以上	29	16.9%	11	13.6%	18	20.0%	0	0.0%
不明	21	12.2%	10	12.3%	11	12.2%	0	0.0%
合計	172	100.0%	81	100.0%	90	100.0%	1	100.0%

(4) 回答団体の主な活動分野

回答団体の主な活動分野（複数回答）をみると、「地域を応援する」（58.1%）が最も多く、これに、「福祉を支える」（46.5%）、「子どもを支える」（32.0%）がつづく。

団体種類別にみると、NPO 法人では、「福祉を支える」、「地域を応援する」、「子供を支える」の順に回答が多い。

図表Ⅱ-5 回答団体の主な活動分野—団体種類（MA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
子どもを支える	55	32.0%	42	35.9%	13	23.6%
福祉を支える	80	46.5%	66	56.4%	14	25.5%
外国人を支える	10	5.8%	9	7.7%	1	1.8%
保健・医療を支える	31	18.0%	26	22.2%	5	9.1%
社会教育を支える	39	22.7%	24	20.5%	15	27.3%
経済を支える	37	21.5%	21	17.9%	16	29.1%
地域を応援する	100	58.1%	57	48.7%	43	78.2%
働く人を応援する	19	11.0%	15	12.8%	4	7.3%
文化・芸術・スポーツを支える	49	28.5%	34	29.1%	15	27.3%
自然環境を守る	48	27.9%	29	24.8%	19	34.5%
被災者を支える	4	2.3%	2	1.7%	2	3.6%
その他	19	11.0%	14	12.0%	5	9.1%
不明	2	1.2%	1	0.9%	1	1.8%
全体	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

図表Ⅱ-6 回答団体の主な活動分野—所在地（MA）

回答	全体		所在地					
			松江・出雲		その他の市町村		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
子どもを支える	55	32.0%	22	27.2%	33	36.7%	0	0.0%
福祉を支える	80	46.5%	36	44.4%	43	47.8%	1	100.0%
外国人を支える	10	5.8%	4	4.9%	6	6.7%	0	0.0%
保健・医療を支える	31	18.0%	11	13.6%	20	22.2%	0	0.0%
社会教育を支える	39	22.7%	16	19.8%	23	25.6%	0	0.0%
経済を支える	37	21.5%	16	19.8%	21	23.3%	0	0.0%
地域を応援する	100	58.1%	38	46.9%	61	67.8%	1	100.0%
働く人を応援する	19	11.0%	8	9.9%	11	12.2%	0	0.0%
文化・芸術・スポーツを支える	49	28.5%	24	29.6%	25	27.8%	0	0.0%
自然環境を守る	48	27.9%	17	21.0%	31	34.4%	0	0.0%
被災者を支える	4	2.3%	2	2.5%	2	2.2%	0	0.0%
その他	19	11.0%	11	13.6%	8	8.9%	0	0.0%
不明	2	1.2%	2	2.5%	0	0.0%	0	0.0%
全体	172	100.0%	81	100.0%	90	100.0%	1	100.0%

(5) 回答団体の事業規模（年間収益）

回答団体の事業規模（年間収益）をみると、「100万円未満」が最も多く、これについて「100万円以上～500万円未満」、「3,000万円以上～1億円未満」の順となっている。

団体種類別にみると、NPO法人では、「100万円以上～500万円未満」、「3,000万円以上～1億円未満」が同率で最も多く、これに「100万円未満」、「1,000万円以上～3,000万円未満」が同率で続いている。

図表Ⅱ-7 回答団体の事業規模（年間収益）－団体種類（SA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
100万円未満	51	29.7%	21	17.9%	30	54.5%
100万円以上～500万円未満	40	23.3%	27	23.1%	13	23.6%
500万円以上～1,000万円未満	15	8.7%	12	10.3%	3	5.5%
1,000万円以上～3,000万円未満	25	14.5%	21	17.9%	4	7.3%
3,000万円以上～1億円未満	29	16.9%	27	23.1%	2	3.6%
1億円以上	10	5.8%	8	6.8%	2	3.6%
不明	2	1.2%	1	0.9%	1	1.8%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

図表Ⅱ-8 回答団体の事業規模（年間収益）－所在地（SA）

回答	全体		所在地					
			松江・出雲		その他の市町村		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
100万円未満	51	29.7%	22	27.2%	29	32.2%	0	0.0%
100万円以上～500万円未満	40	23.3%	17	21.0%	22	24.4%	1	100.0%
500万円以上～1,000万円未満	15	8.7%	8	9.9%	7	7.8%	0	0.0%
1,000万円以上～3,000万円未満	25	14.5%	12	14.8%	13	14.4%	0	0.0%
3,000万円以上～1億円未満	29	16.9%	16	19.8%	13	14.4%	0	0.0%
1億円以上	10	5.8%	5	6.2%	5	5.6%	0	0.0%
不明	2	1.2%	1	1.2%	1	1.1%	0	0.0%
合計	172	100.0%	81	100.0%	90	100.0%	1	100.0%

2. 経営資源（ヒト）について

(1) 会員数と一人当たりの年会費

ここでは、議決権のある・なし別の会員数と、それぞれの一人当たりの年会費を尋ねている。

※「議決権のある会員」とは、総会などの意思決定機関の構成員で、総会などで提示された一定の議案または特定の議事・議題に対して賛否を示し、団体の意思決定に直接的に関与する権利、いわゆる議決権を行使できる会員をいう。

《議決権のある会員／会員数》

議決権のある会員の会員数を尋ねたところ、161 団体が会員数を記入しており、総計は 8,381 人、数値を記入した 161 団体の 1 団体あたりの平均は、52.1 人となった。

カテゴリー別では、「10 人以上 30 人未満」が最も多く、50.6%を占めている。

図表Ⅱ-9 議決権のある会員数 (NA)

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
	件数	構成比	NPO法人		その他	
			件数	構成比	件数	構成比
10人未満	22	12.8%	4	3.4%	18	32.7%
10人以上30人未満	87	50.6%	71	60.7%	16	29.1%
30人以上50人未満	19	11.0%	15	12.8%	4	7.3%
50人以上100人未満	18	10.5%	16	13.7%	2	3.6%
100人以上	15	8.7%	9	7.7%	6	10.9%
不明	11	6.4%	2	1.7%	9	16.4%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

《議決権のある会員／一人当たりの年会費》

議決権のある会員の一人当たりの年会費を尋ねたところ、155 団体が年会費を記入しており、総計は 580,150 円、数値を記入した 155 団体の 1 団体あたりの平均は、3,742.9 円となった。

カテゴリー別では、「1,000 円以上 3,000 円未満」が最も多く、30.2%を占めている。

図表Ⅱ-10 議決権のある会員／一人あたりの年会費 (NA)

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
	件数	構成比	NPO法人		その他	
			件数	構成比	件数	構成比
0円	27	15.7%	8	6.8%	19	34.5%
500円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
500円以上1,000円未満	6	3.5%	4	3.4%	2	3.6%
1,000円以上3,000円未満	52	30.2%	46	39.3%	6	10.9%
3,000円以上5,000円未満	31	18.0%	23	19.7%	8	14.5%
5,000円以上10,000円未満	24	14.0%	21	17.9%	3	5.5%
10,000円以上	15	8.7%	12	10.3%	3	5.5%
不明	17	9.9%	3	2.6%	14	25.5%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

《議決権のない会員／会員数》

議決権のない会員の会員数を尋ねたところ、136 団体が会員数を記入しており、総計は 6,156 人、数値を記入した 136 団体の 1 団体あたりの平均は、45.3 人となった。

カテゴリー別では、「10 人未満」が最も多く、50.6%を占めている。

図表Ⅱ－11 議決権のない会員数 (NA)

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
	件数	構成比	NPO法人		その他	
			件数	構成比	件数	構成比
10人未満	87	50.6%	64	54.7%	23	41.8%
10人以上30人未満	17	9.9%	12	10.3%	5	9.1%
30人以上50人未満	8	4.7%	6	5.1%	2	3.6%
50人以上100人未満	10	5.8%	9	7.7%	1	1.8%
100人以上	14	8.1%	11	9.4%	3	5.5%
不明	36	20.9%	15	12.8%	21	38.2%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

《議決権のない会員／一人当たりの年会費》

議決権のない会員の一人当たりの年会費を尋ねたところ、126 団体が年会費を記入しており、総計は 476,200 円、数値を記入した 126 団体の 1 団体あたりの平均は、3,779.4 円となった。

カテゴリー別では、「1,000 円以上 3,000 円未満」が最も多く、17.4%を占めている。

図表Ⅱ－12 議決権のない会員／一人あたりの年会費 (NA)

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
	件数	構成比	NPO法人		その他	
			件数	構成比	件数	構成比
0円	61	35.5%	35	29.9%	26	47.3%
500円未満	1	0.6%	0	0.0%	1	1.8%
500円以上1,000円未満	3	1.7%	3	2.6%	0	0.0%
1,000円以上3,000円未満	30	17.4%	27	23.1%	3	5.5%
3,000円以上5,000円未満	12	7.0%	12	10.3%	0	0.0%
5,000円以上10,000円未満	11	6.4%	11	9.4%	0	0.0%
10,000円以上	8	4.7%	7	6.0%	1	1.8%
不明	46	26.7%	22	18.8%	24	43.6%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

(2) 会員募集の活動

会員募集の活動について尋ねたところ、「あまり活動していない」(39.5%)が最も多く、次いで「比較的活動している」と「活動していない」がほぼ同率で続いている。

図表Ⅱ-13 会員募集の活動 (SA)

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
積極的に活動している	15	8.7%	9	7.7%	6	10.9%
比較的活動している	44	25.6%	32	27.4%	12	21.8%
あまり活動していない	68	39.5%	51	43.6%	17	30.9%
活動していない	40	23.3%	25	21.4%	15	27.3%
不明	5	2.9%	0	0.0%	5	9.1%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

(3) 1年前と比較した会員数の動向

1年前と比較した会員数の動向を尋ねたところ、「変わらない」が最も多く、6割以上を占めている。これに、次いで「増えている」が続いている。

会員募集の活動別にみると、活動団体（積極的に活動している、比較的活動している）では、「変わらない」が多いものの、「増えている」団体も一定程度みられる。

一方で、非活動団体（あまり活動していない、活動していない）でも「変わらない」が7割を占めている。

図表Ⅱ-14 1年前と比較した会員数の動向 (SA)

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
とても増えている	1	0.6%	1	0.9%	0	0.0%
増えている	36	20.9%	27	23.1%	9	16.4%
変わらない	110	64.0%	77	65.8%	33	60.0%
減っている	19	11.0%	12	10.3%	7	12.7%
不明	6	3.5%	0	0.0%	6	10.9%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

図表Ⅱ-15 1年前と比較した会員数の動向－会員募集の活動 (SA)

回答	会員募集の活動									
	積極的に活動している		比較的活動している		あまり活動していない		活動していない		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
とても増えている	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
増えている	9	60.0%	14	31.8%	10	14.7%	3	7.5%	0	0.0%
変わらない	4	26.7%	26	59.1%	50	73.5%	30	75.0%	0	0.0%
減っている	1	6.7%	4	9.1%	8	11.8%	6	15.0%	0	0.0%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.5%	5	100.0%
合計	15	100.0%	44	100.0%	68	100.0%	40	100.0%	5	100.0%

(4) 会員募集に対する今後の意向

会員募集に対する今後の意向を尋ねたところ、「できれば増やしたい」が最も多く、39.0%を占めている。これに次いで「現状維持でよい」(29.7%)、「積極的に増やしたい」(20.3%)の順となっている。

増加希望(「積極的に増やしたい」、「できれば増やしたい」の合計を指す)は、約6割を占めており、会員増強の意向を持つ団体が多い。

会員募集の活動別にみると、活動団体(積極的に活動している、比較的活動している)では、9割近くが増加希望と回答している。一方、非活動団体(あまり活動していない、活動していない)でも、増加希望、現状維持に分かれる傾向がみられる。

1年前と比較した会員数の動向別にみると、“増えている”団体では増加希望の割合が高い。会員数が“変わらない”団体でも、増加希望の割合が5割超を占めている。また、“減っている”団体でも、「できれば増やしたい」が6割近くを占めており、総じて、会員数の増加に前向きな姿勢がみられる。

図表Ⅱ-16 会員募集に対する今後の意向 (SA)

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
積極的に増やしたい	35	20.3%	30	25.6%	5	9.1%
できれば増やしたい	67	39.0%	44	37.6%	23	41.8%
現状維持でよい	51	29.7%	36	30.8%	15	27.3%
あまり増やしたくない	4	2.3%	4	3.4%	0	0.0%
減らしたい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
分からない	8	4.7%	2	1.7%	6	10.9%
不明	7	4.1%	1	0.9%	6	10.9%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

図表Ⅱ-17 会員募集に対する今後の意向-会員募集の活動別 (SA)

回答	会員募集の活動									
	積極的に活動している		比較的活動している		あまり活動していない		活動していない		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
積極的に増やしたい	9	60.0%	17	38.6%	9	13.2%	0	0.0%	0	0.0%
できれば増やしたい	4	26.7%	23	52.3%	34	50.0%	6	15.0%	0	0.0%
現状維持でよい	2	13.3%	3	6.8%	22	32.4%	24	60.0%	0	0.0%
あまり増やしたくない	0	0.0%	0	0.0%	2	2.9%	2	5.0%	0	0.0%
減らしたい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
分からない	0	0.0%	1	2.3%	1	1.5%	6	15.0%	0	0.0%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.0%	5	100.0%
合計	15	100.0%	44	100.0%	68	100.0%	40	100.0%	5	100.0%

図表Ⅱ-18 会員募集に対する今後の意向-1年前と比較した会員数の動向別 (SA)

回答	会員数の動向(1年前の変化)									
	とても増えている		増えている		変わらない		減っている		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
積極的に増やしたい	1	100.0%	15	41.7%	17	15.5%	2	10.5%	0	0.0%
できれば増やしたい	0	0.0%	12	33.3%	44	40.0%	11	57.9%	0	0.0%
現状維持でよい	0	0.0%	8	22.2%	38	34.5%	5	26.3%	0	0.0%
あまり増やしたくない	0	0.0%	0	0.0%	4	3.6%	0	0.0%	0	0.0%
減らしたい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
分からない	0	0.0%	1	2.8%	6	5.5%	0	0.0%	1	16.7%
不明	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%	1	5.3%	5	83.3%
合計	1	100.0%	36	100.0%	110	100.0%	19	100.0%	6	100.0%

(5) 役員数と役員の年齢ごとの内訳

ここでは、役員数とその年齢ごとの内訳を尋ねている。

《役員数》

役員数を尋ねたところ、164 団体が役員数を記入しており、総計は 1,330 人、数値を記入した 164 団体の 1 団体あたりの平均は、8.1 人となった。

カテゴリー別にみると、「5 人以上 10 人未満」が最も多い。

図表Ⅱ－19 役員数（NA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0人	2	1.2%	0	0.0%	2	3.6%
3人未満	9	5.2%	0	0.0%	9	16.4%
3人以上5人未満	26	15.1%	17	14.5%	9	16.4%
5人以上10人未満	72	41.9%	54	46.2%	18	32.7%
10人以上	55	32.0%	45	38.5%	10	18.2%
不明	8	4.7%	1	0.9%	7	12.7%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

《役員数（10代以下）》

10代以下の役員数を尋ねたところ、回答した161団体が全て0人と回答している。

図表Ⅱ-20 10代以下の役員数（NA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0人	161	93.6%	114	97.4%	47	85.5%
3人未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3人以上5人未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5人以上10人未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
10人以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
不明	11	6.4%	3	2.6%	8	14.5%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

《役員数（20代～30代）》

20代～30代の役員数を尋ねたところ、161団体が役員数を記入しており、総計は68人、数値を記入した161団体の1団体あたりの平均は、0.4人となった。

カテゴリー別にみると、在籍者のある団体では「3人未満」が最も多い。

図表Ⅱ-21 20代～30代の役員数（NA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0人	123	71.5%	87	74.4%	36	65.5%
3人未満	30	17.4%	21	17.9%	9	16.4%
3人以上5人未満	6	3.5%	5	4.3%	1	1.8%
5人以上10人未満	2	1.2%	1	0.9%	1	1.8%
10人以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
不明	11	6.4%	3	2.6%	8	14.5%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

《役員数（40代～50代）》

40代～50代の役員数を尋ねたところ、161団体が役員数を記入しており、総計は417人、数値を記入した161団体の1団体あたりの平均は、2.6人となった。

カテゴリー別にみると、在籍者のある団体では「3人未満」が最も多い。

図表Ⅱ-22 40代～50代の役員数（NA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0人	42	24.4%	23	19.7%	19	34.5%
3人未満	52	30.2%	35	29.9%	17	30.9%
3人以上5人未満	39	22.7%	36	30.8%	3	5.5%
5人以上10人未満	23	13.4%	17	14.5%	6	10.9%
10人以上	5	2.9%	3	2.6%	2	3.6%
不明	11	6.4%	3	2.6%	8	14.5%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

《役員数（60代）》

60代の役員数を尋ねたところ、161団体が役員数を記入しており、総計は502人、数値を記入した161団体の1団体あたりの平均は、3.1人となった。

カテゴリー別にみると、在籍者のある団体では「3人以上5人未満」が最も多い。

図表Ⅱ-23 60代の役員数（NA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0人	39	22.7%	21	17.9%	18	32.7%
3人未満	39	22.7%	27	23.1%	12	21.8%
3人以上5人未満	45	26.2%	37	31.6%	8	14.5%
5人以上10人未満	30	17.4%	23	19.7%	7	12.7%
10人以上	8	4.7%	6	5.1%	2	3.6%
不明	11	6.4%	3	2.6%	8	14.5%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

《役員数（70代）》

70代の役員数を尋ねたところ、161団体が役員数を記入しており、総計は268人、数値を記入した161団体の1団体あたりの平均は、1.7人となった。

カテゴリー別にみると、在籍者のある団体では「3人未満」が最も多い。

図表Ⅱ-24 70代の役員数（NA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0人	66	38.4%	47	40.2%	19	34.5%
3人未満	59	34.3%	40	34.2%	19	34.5%
3人以上5人未満	17	9.9%	13	11.1%	4	7.3%
5人以上10人未満	17	9.9%	13	11.1%	4	7.3%
10人以上	2	1.2%	1	0.9%	1	1.8%
不明	11	6.4%	3	2.6%	8	14.5%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

《役員数（80代以上）》

80代以上の役員数を尋ねたところ、161団体が役員数を記入しており、総計は38人、数値を記入した161団体の1団体あたりの平均は、0.3人となった。

カテゴリー別にみると、在籍者のある団体では「3人未満」が最も多い。

図表Ⅱ-25 80代の役員数（NA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0人	135	78.5%	93	79.5%	42	76.4%
3人未満	22	12.8%	18	15.4%	4	7.3%
3人以上5人未満	4	2.3%	3	2.6%	1	1.8%
5人以上10人未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
10人以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
不明	11	6.4%	3	2.6%	8	14.5%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

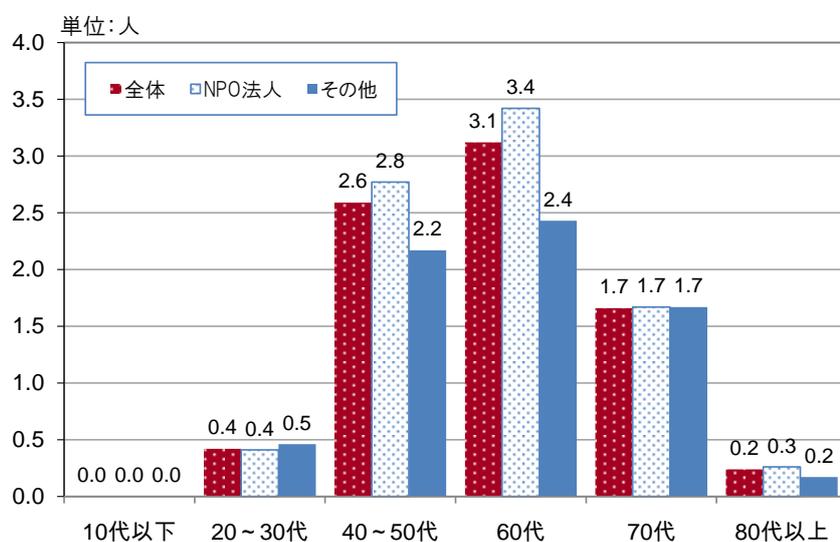
【参考】役員数の構成（平均値の算出）

有効回答（全ての年齢に回答のあった 161 団体）から、役員数の平均値を年齢別に算出したところ、下図のとおりとなった。

それによると、役員は「60代」（3.1人）が最も多く、これに次いで「40～50代」（2.6人）、「70代」（1.7人）の順となっており、これらの中高年世代が中心となっている。

一方で、「20～30代」（0.4人）、「80代」（0.2人）の役員が在籍する団体は少ない状況となっている。

図表Ⅱ－26 役員数の平均値（NA）



(6) 職員数

団体の職員数について、「有給職員（常勤）」、「無給職員（常勤）」、「有給職員（非常勤）」、「無給職員（非常勤）」の4項目を尋ねている。

※「常勤」とは1日概ね8時間／週5日の週計40時間を勤務する方を指します。「非常勤」は勤務日数、時間が「常勤」以下、または、不定期の方を指す。

《有給職員（常勤）》

有給職員（常勤）を尋ねたところ、160団体が職員数を記入しており、総計は737人、数値を記入した160団体の1団体あたりの平均は、4.6人となった。

カテゴリー別にみると、在籍者のある団体では「3人未満」（18.0%）が最も多い。

図表Ⅱ-27 有給職員（常勤）の人数（NA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0人	74	43.0%	47	40.2%	27	49.1%
3人未満	31	18.0%	23	19.7%	8	14.5%
3人以上5人未満	16	9.3%	12	10.3%	4	7.3%
5人以上10人未満	27	15.7%	24	20.5%	3	5.5%
10人以上	12	7.0%	10	8.5%	2	3.6%
不明	12	7.0%	1	0.9%	11	20.0%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

《有給職員（非常勤）》

有給職員（非常勤）を尋ねたところ、161団体が職員数を記入しており、総計は525人、数値を記入した161団体の1団体あたりの平均は、3.3人となった。

カテゴリー別にみると、在籍者のある団体では「3人未満」（16.9%）が最も多い。

図表Ⅱ-28 有給職員（非常勤）の人数（NA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0人	81	47.1%	53	45.3%	28	50.9%
3人未満	29	16.9%	24	20.5%	5	9.1%
3人以上5人未満	20	11.6%	14	12.0%	6	10.9%
5人以上10人未満	17	9.9%	12	10.3%	5	9.1%
10人以上	14	8.1%	13	11.1%	1	1.8%
不明	11	6.4%	1	0.9%	10	18.2%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

《無給職員（常勤）》

無給職員（常勤）を尋ねたところ、154 団体が職員数を記入しており、総計は 40 人、数値を記入した 154 団体の 1 団体あたりの平均は、0.3 人となった。

カテゴリー別にみると、「3 人未満」（4.7%）が最も多い。

図表Ⅱ-29 無給職員（常勤）の人数（NA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0人	141	82.0%	99	84.6%	42	76.4%
3人未満	8	4.7%	8	6.8%	0	0.0%
3人以上5人未満	2	1.2%	2	1.7%	0	0.0%
5人以上10人未満	2	1.2%	0	0.0%	2	3.6%
10人以上	1	0.6%	1	0.9%	0	0.0%
不明	18	10.5%	7	6.0%	11	20.0%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

《無給職員（非常勤）》

無給職員（非常勤）を尋ねたところ、154 団体が職員数を記入しており、総計は 162 人、数値を記入した 154 団体の 1 団体あたりの平均は、1.1 人となった。

カテゴリー別にみると、「3 人未満」（14.0%）が最も多い。

図表Ⅱ-30 無給職員（非常勤）の人数（NA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0人	113	65.7%	75	64.1%	38	69.1%
3人未満	24	14.0%	23	19.7%	1	1.8%
3人以上5人未満	5	2.9%	3	2.6%	2	3.6%
5人以上10人未満	9	5.2%	7	6.0%	2	3.6%
10人以上	3	1.7%	1	0.9%	2	3.6%
不明	18	10.5%	8	6.8%	10	18.2%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

(7) UI ターン者について

内部人材（役員及び職員）のうち、UI ターン者（※UI ターン者とは、県外から島根県内に転入した方を指す）について、その人数を尋ねたところ、155 団体が記入しており、その総計は 123 人、数値を記入した 155 団体の平均は 0.8 人となった。

カテゴリー別にみると、「1 人」（13.4%）が最も多い。

図表Ⅱ-31 UI ターン者数（NA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0人	110	64.0%	80	68.4%	30	54.5%
1人	23	13.4%	15	12.8%	8	14.5%
2人	7	4.1%	6	5.1%	1	1.8%
3人以上5人未満	6	3.5%	3	2.6%	3	5.5%
5人以上10人未満	7	4.1%	4	3.4%	3	5.5%
10人以上	2	1.2%	1	0.9%	1	1.8%
不明	17	9.9%	8	6.8%	9	16.4%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

図表Ⅱ-32 主な活動分野—UI ターン者数（MA）

回答	全体		UI ターン者													
			0人		1人		2人		3人以上5人未満		5人以上10人未満		10人以上		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
子どもを支える	55	32.0%	29	24.8%	8	34.8%	2	28.6%	2	33.3%	5	71.4%	1	50.0%	8	47.1%
福祉を支える	80	46.5%	55	47.0%	10	43.5%	3	42.9%	1	16.7%	4	57.1%	0	0.0%	7	41.2%
外国人を支える	10	5.8%	1	0.9%	4	17.4%	0	0.0%	1	16.7%	2	28.6%	0	0.0%	2	11.8%
保健・医療を支える	31	18.0%	18	15.4%	4	17.4%	4	57.1%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	4	23.5%
社会教育を支える	39	22.7%	19	16.2%	6	26.1%	1	14.3%	2	33.3%	4	57.1%	1	50.0%	6	35.3%
経済を支える	37	21.5%	17	14.5%	7	30.4%	1	14.3%	3	50.0%	3	42.9%	1	50.0%	5	29.4%
地域を応援する	100	58.1%	58	49.6%	15	65.2%	4	57.1%	3	50.0%	5	71.4%	1	50.0%	14	82.4%
働く人を応援する	19	11.0%	11	9.4%	3	13.0%	0	0.0%	1	16.7%	2	28.6%	1	50.0%	1	5.9%
文化・芸術・スポーツを支える	49	28.5%	25	21.4%	9	39.1%	2	28.6%	3	50.0%	4	57.1%	0	0.0%	6	35.3%
自然環境を守る	48	27.9%	24	20.5%	10	43.5%	4	57.1%	2	33.3%	1	14.3%	1	50.0%	6	35.3%
被災者を支える	4	2.3%	1	0.9%	2	8.7%	1	14.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	19	11.0%	12	10.3%	4	17.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	2	11.8%
不明	2	1.2%	2	1.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
全体	172	100.0%	117	100.0%	23	100.0%	7	100.0%	6	100.0%	7	100.0%	2	100.0%	17	100.0%

なお、何らかの形で UI ターン者が在籍している団体は、45 団体であった。

そこで、UI ターン者の団体との関わりや活躍ぶりについて記入いただいたところ、次頁のような回答を得た。

【UI ターン者の団体との関わりや活躍ぶり】（自由回答）

	記述内容
1	得意分野だけでなく、様々なことを吸収しようとする意欲が感じられて頼もしい。地域の団体の方や、地域のことを知ろうとしている。又、地元の人があたり前と思っていることの中に、I地域の魅力がたくさんあることも発信してくれて、私達の新たな気づきにもなっている。地域になじもうとする気持ちが伝わってくる。そうしたUIターン者が気持ち良く働けるような関わり方もみつきつつあります。
2	転勤で赴任して来られた方が、地元の人や団体と知り合いになり、交流できるきっかけになっている。その交流から新しい事業に取り組みられるなど、赴任中にも活躍されている。が、赴任が終わり帰られて以降も、後任者にバトンタッチされたり、新たな赴任地で島根との交流を広げておられる。
3	H27年1月にパン職人をしていた女性1名を有給職員（非常勤）として受入れ、講習会やイベント開催の中心的な役割を担っている。またH28年3月からUターンした男性1名を就農体験に仲介するとともに当団体でもこれまでの経験を活かして、農園管理などで活躍中。
4	新しいことに前向きで常にチャレンジ精神をもって活動されています。（役員・30代・Iターン）
5	2014年入会のIターン会員、2015年入会のUターン会員、2名共に積極的に活動に参加し、団体運営。
6	豊富な知識を生かして、県内外のパイプ役としても活躍して頂いてます。又、個人ブログSNSでは地域の魅力を発信していらっしゃる、団体の周知と共に地域の周知にもなっている。
7	神戸市からのUターン2名、新しい発想でプロジェクトの企画が出来る。
8	Iターン者2名が働いています。いずれも県内の大学卒で、特に島根の風景、人情に惚れた。ずっと住み続けたいと言っており、仕事ぶりは極めて積極的です。
9	新たな発想に導かれるコメントが多い。前向きである。
10	・コミュニケーションをとる。 ・地域住民とのつなぎ役 受入れ時の世話
11	運営委員のメンバーとして参加、又は応援者として登録。地元を見直すきっかけや、新しい発想、またはUIターン者とのつながりなど運営委員会により効果をもたらしている。
12	UIターンの中でもIターンが多く、地元以外の視点での意見が活動の活性化につながっていると思います。
13	法人会計処理やイベント業務の遂行を担当。高度な知識を持ち、担当業務の改善に貢献している。
14	Iターン者が代表をさせてもらってます。
15	地域の農地を維持するために、定住対策は最大の課題である。U・Iターン者の多様なアイデアを積極的に生かしながら、交流を促進し定住を図る。そのため、経済の安定に農業や雇用を通じて貢献したい。
16	講演会などの講師を紹介している
17	U・Iターン者が積極的に活動を展開している
18	会社の職員はアルバイト含め、9人中8人がIターンであり、顧客対象（地域づくり事業以外）の大多数が地域外の人である。町自体も熱心にUIターン受入に取り組んでいるため、弊社の活動においても県事業を受託したり、地域内の一次産業後継者を誘致するイベントや活動に力を入れている。
19	・地元の介護施設であり、地元の顔ききの者に役員になってもらっている。 ・職員ももともと地元の人全てである。今後、UIターン者があれば積極的に採用はしたい。
20	全員がIターン者です。今後も主に福岡からのUIターンが増えます。活動の主旨から穏やかに淡々と日々を送ることが大切と考えます。自身の探求を深め、農業、勉学等、仕事にまい進いたします。

	記述内容
21	Iターンされた方で、介護が初めてであったが、とてもがんばって働いてくれている。島根には温かい人がたくさんいると話されていたし、暮らしやすいと言っていた。
22	メディア等で見たり聞いたりすることは多い。地元で生活しては、分からなかった魅力を抱いているようで、その魅力に気づかされることもある。続けて頑張りたい。
23	内部には、UIターンに関しては、当たり前なこと、気づかないこと等があり、UIターンにより一度外部に出て気づくことがあったり、またIターンのように他地域との比較により、違いに気づく。このNPO法人は、行政との関わりがないところで立ち上げているので、外部の目を通した地域の未来像を独自の目線で作り上げていこうとしている。どの点において、UIターン者の意見は非常に参考となる。
24	<ul style="list-style-type: none"> ・他県から島根にIターンし、里山の保全、環境保全の活動を連携 ・他県から島根にIターンし、同地域で活動しているNPOの役員 ・市外在住であったが、NPOの活動を支援するための故郷へ帰郷
25	主力となり、働いている
26	事業活動に積極的に関わっておられる
27	まちの人々と連携して仕事をするので、地域のつながりを深くさせてもらっています。
28	代表理事兼実働スタッフ自身がIターンし、田舎で暮らしているということが、活動の円滑化に直結しています。
29	勤続3年目を迎え、地元生産者とのコミュニケーションや来店客の対応など、都会目線で取り組んでいる。
30	研修生1名を置いている。事務作業、農作業の体験を積みながら従事してもらっている。
31	理事長として活動中。
32	約40年間のブランクを埋めようとしている。行政との連絡を密にしている。
33	本人の希望により活動への参加が始まることが多い。最低賃金での働きとなっているが、スキルの高い人が多く、人材に恵まれ助かっている。
34	私本人が古里貢献を考えて帰郷しました。都会で仕事を経験した方々の活用は、リテラシーを持っているので大変良いと思います。彼らが、私たちの活動を知ってくると良いと思います。
35	最近2~3年ではUIターン者の活動の様子が良く報じられています。が、定着できる活動かどうか疑問なものも散見することがあり、UIターン者を見る目も“よそ者”という視点でなく、共働者としてとらえる社会でありたいと思います。
36	UIターン者がいたとしても、団体会員の中にも含まれているため、団体としてはその活躍ぶりを把握していない。UIターン者を特別視することなく、坦々と活動してゆきたい
37	・理事長がIターン者。特にIターン者である事が活動に反映された事はない。
38	臨時職員として採用（ただし、経歴・経験不問での採用のため、前職等の経験は活用していない）
39	当地区は、UIターン者は0名です。無理な地区と思う。
40	今後の集落活動については、参加していただきたい。
41	（UIターン者は）多少はいるが、自治会参加について興味を示さない
42	UIターン団体と関わりないが、「所在」が分からない。
43	UIターン者の視点は、環境が異なる場に来られた、第三者としても貴重な感性をお持ちです。しかし、いつまでもUIターン者ではなく、何十年も住めば立派な、いままでの県民と同じ。それ自体よりも、個人的資質が大切かと思う。

(8) ボランティアの受入の有無、受入実績

ボランティアの受入の有無を尋ねたところ、「あり」(49.4%)が半数を占めている。
団体種類別にみると、NPO法人は、その他に比べて「あり」の割合が高い。

図表Ⅱ-32 ボランティアの受入の有無－団体種類 (SA)

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
あり	85	49.4%	62	53.0%	23	41.8%
なし	82	47.7%	54	46.2%	28	50.9%
不明	5	2.9%	1	0.9%	4	7.3%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

図表Ⅱ-33 ボランティアの受入の有無－所在地 (SA)

回答	全体		所在地					
			松江・出雲		その他の市町村		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
あり	85	49.4%	41	50.6%	44	48.9%	0	0.0%
なし	82	47.7%	39	48.1%	42	46.7%	1	100.0%
不明	5	2.9%	1	1.2%	4	4.4%	0	0.0%
合計	172	100.0%	81	100.0%	90	100.0%	1	100.0%

図表Ⅱ-34 主な活動分野－ボランティアの受入の有無 (MA)

回答	全体		ボランティア受入の有無					
			あり		なし		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
子どもを支える	55	32.0%	31	36.5%	24	29.3%	0	0.0%
福祉を支える	80	46.5%	46	54.1%	34	41.5%	0	0.0%
外国人を支える	10	5.8%	4	4.7%	6	7.3%	0	0.0%
保健・医療を支える	31	18.0%	17	20.0%	14	17.1%	0	0.0%
社会教育を支える	39	22.7%	23	27.1%	16	19.5%	0	0.0%
経済を支える	37	21.5%	10	11.8%	25	30.5%	2	40.0%
地域を応援する	100	58.1%	44	51.8%	52	63.4%	4	80.0%
働く人を応援する	19	11.0%	10	11.8%	9	11.0%	0	0.0%
文化・芸術・スポーツを支える	49	28.5%	27	31.8%	22	26.8%	0	0.0%
自然環境を守る	48	27.9%	22	25.9%	23	28.0%	3	60.0%
被災者を支える	4	2.3%	3	3.5%	1	1.2%	0	0.0%
その他	19	11.0%	9	10.6%	10	12.2%	0	0.0%
不明	2	1.2%	2	2.4%	0	0.0%	0	0.0%
全体	172	100.0%	85	100.0%	82	100.0%	5	100.0%

《ボランティア受入実績》

ボランティアの受入のある団体に、過去1年間の受入実績を「時期・期間」、「ボランティアの内容・役割」、「延べ人数」について尋ねた。

	時期・期間	ボランティアの内容・役割	延べ人数(人)
1	通年	○音楽活動、○子育て支援活動、○人形劇活動	624
2	年間	利用者との会話、将棋相手など	150
3	通年	デイサービス給食ボランティア	40
	通年	交流サロンの運営	18
4	通年	農作業、イベントスタッフ	20
5	平成25年～27年	—	30
6	平成26年	就労B型作業	16
7	平成27年	作業員の指導	3
	平成28年	作業員の指導	3
	平成29年	作業員の指導	3
8	通年 (H28年1月～12月)	施設見学等の付き添い	10
9	通年	生け花、音楽療法、作業、読み聞かせ	
10	通年 (定期的に)	内職作業、創作活動補助	24
11	通年	児童の保育業務補助 (一緒に遊ぶことがメイン)	3
	夏休み	高校生の「サマーチャレンジボランティア」(社会福祉協議会主催)にて、児童と一緒に遊んでいただきました	6
12	夏期	海岸の清掃	30
	夏～秋	子どもたちへの起業学習	25
	通年	ひとり親などの子供に対する学習支援	30
13	通年	・利用者の授産活動の補助 ・資金調達のための事業のお手伝い	215
14	通年	事務所及び居場所の運営当番	910
15	春季	椿木の植生調査	3
	夏季	市民協働まちづくり交流会	7
16	毎日	デイサービス利用者の話し相手、9時30分から13時まで。昼食を食べて帰られる。ほとんどの方が6年以上 (毎日1人決まった方が来られる)	6
	毎週水曜日	デイサービス利用で囲碁の相手 (5年以上)	2
	10年以上	お茶会、会食サロン、男の料理教室	12
17	不定期、1時間～30分	歌、おどり、体操 草取、草刈	85
18	毎月1回・2時間	市報などの仕分け	24
19	1ヶ月に1回	三味線 (入居者を楽しませている)	24
	年に3回	保育園児との交流 (入居者が昔を思い出すことができる)	225
	年に2回	舞踊、演歌 (入居者が一緒に歌い、生活の刺激となっている)	30
20	年10回程度の音楽イベント	ドアマン、もぎり、会場整理等	50～100
	12月の1～2日	ホールの飾り付け等	50
	11月～1月	コンクール、コンサートの企画・運営	70
21	1年間 (6回)	農作業	1
22	H28年4月	神事において、花飾りの手伝い、担ぎ手になってもらった	5
23	4月、5月、7月、9月 (各1日)	草刈り作業など	80
24	2016年4月	当会管理下の花壇の草とり	2
	2016年6月	当会管理下の花壇の草とり	2
25	5月、11月 (各1日)	子どもたちの林業体験、自然観察のサポート	2
	夏 (半日)	小児病棟でのイベント実施の準備、サポート	3
26	2016. 5	イベント出店の手伝い	30

	時期・期間	ボランティアの内容・役割	延べ人数(人)
27	5月	物販の補助	3
	8月	物販の補助	4
	12月	物販の補助	8
28	5月	大正琴演奏	8
	10月	大正琴演奏	4
	9月	福祉フェスティバル	40
	10月	安来節、唄、踊り	4
	11月	インストラクター研修会	2
	1月	初釜	5
	1月	切り干し大根づくり	8
29	5月	カード発送作業	7
	6月	イベントスタッフ	70
30	5~2月	イベント当日の手伝い	30
31	5月	まつりで係をそれぞれ担当（小学生、高校生などボランティア活動している者）	30
	6月、11月、1月	石見神楽道具作り（6月）、そば打ち（11月）、餅つき（1月）	14
	12月	コンサート（小学生、高校生がサンタで会場を盛り上げる）	30
32	6月1日	ホテル祭りの準備と当日に、祭りスタッフ（受付、会場接待、車運転）	30
	7月（5日間）	夏休み宿泊体験（準備、片付け含む）、小学生対象の宿泊体験（2泊3日）の世話など	120
	10月（2日間）	秋祭りイベント（弁当作り、受付、接待、出店など）	30
	通年（月1回）	牧童探検隊	100
33	H28年6月15日	折り紙作り	1
	H28年12月28日	餅つき	2
34	6月~9月	草刈り作業	10
	通年	給食ボランティア（2名/日×20日×12ヶ月）	480
	年1回 3月頃	清掃作業	20
35	6月~1月末まで	活動補助として環境保全活動に参加している	5
36	6月~11月	天神川の水草刈り	100
	6月~11月	中海で藻刈り	100
37	6月（1日）	舞踊	5
	10月（1日）	ハーモニカ演奏	1
38	H24年6月~H27年5月	桜まつり、元氣市、自治会の応援など（地域おこし協力隊員）	2
39	6月~12月	焼畑のための諸活動	約60
40	7月	草刈、ゴミ拾	80
41	7月~9月	日本画作品の開梱・梱包	5
42	毎月1回・通年実施	EMボカシ・活性液作り教室を開催し、材料の準備から指導まで主体的に実施。	20
	平成28年7月30~31日	イベントに出展し、環境啓発コーナーでの説明や体験コーナーでの指導。	6
	平成28年9月11日、11月5~6日、11月13日	安来、出雲、松江のフェアに出展し、環境啓発コーナーでの説明や体験コーナーでの指導。	15
43	8月（期間1日）	障がい者のスポーツ大会の運営	13
	9月（期間1日）	障がい者のスポーツ大会の運営	5
44	8月	音楽演奏補助員	8~10
	11月	音楽演奏補助員	8~10
45	8月	海岸清掃	10

	時期・期間	ボランティアの内容・役割	延べ人数(人)
46	夏休み（主に長期休暇期間） 平成27年度	高校生（放課後児童クラブ及び通所介護事業所）	113
	夏休み（主に長期休暇期間） 平成28年度	高校生（放課後児童クラブ及び通所介護事業所）	70
	随時	歌、踊り、民謡 その他のグループ	35
47	H28年9月	大会・エイドステーションのスタッフ、 大会 立碇	200
	H28年9月	大会 スタッフ	100
48	H28. 9月	イベント運営スタッフ	60
	H28. 10月～11月	表方スタッフ	188
	H28. 12月	落ち葉集め	36
49	9月	夏祭りスタッフ	30
	1月	新年の集い（もちつき）スタッフ	15
50	H28. 9	年1回の法人のおまつり手伝い（販売・ゲームコーナー等の担当）	10
	H28. 1、H28. 4、H28. 6	絵手紙講師	3
51	秋・3日間	祭事の運営	10
52	10月（バザー開催）、2月、10 月、11月（イベント開催）	会計、事前準備、商品管理など	10
	年3回（陶芸教室開催）	窯の管理（本焼・素焼）、色付け、陶器の製作	12
	週2回（音楽教室開催）	エレクトーンの伴奏	120
53	10月中旬～下旬	姉妹都市からの中高校生、教員の受入れ事業のためのホームステイ受入 れ、市内案内等	20
54	平成28年10月15日～16日	祭り開催に伴い前日の準備、当日のイベントスタッフ	14
	平成28年10月15日	小中学生を対象とした集団活動において、ボウリングと昼食の見守り等	5
	平成28年5月29日	成人期の会員を対象とした集団活動を実施して、レクリエーション（ボ ウリング、卓球、カラオケ）と昼食の見守り等	3
55	10月21日、22日	中学校総合学習、クラブイベントPR 壁面づくり、指定管理施設の整備	50
	7月～8月	イベント開催準備、イベント運営・片付け	150
	9月14日	指定管理施設 体育祭前環境整備	82
	12月3日	職場体験	1
56	10月	交流会 スタッフとしてスポーツの指導、準備や片づけなど	40
57	H28年10月	草刈り	
	H28年11月	道路ならし	
58	10月～11月（延べ14回）	小学校（1、2年生）、ふるさと学習、銭太鼓、どじょう掬い踊り	70
	2月28日	女性フェスタ 子供銭太鼓、どじょう掬い踊り	21
	8月7日	まつり 子供銭太鼓、どじょう掬い踊り	13
	9月15日	芸能ボランティア出演に協力（唄、踊りほか）	8
59	2016. 10. 23	防災講話の講師	1
60	H28年10月7日	社会奉仕活動（公共施設清掃 5ヶ所）	102
61	H28年10月～11月	遊歩道の整備及び林間の間伐	10
62	H28年11月～12月	健康指導員	10
63	秋の作業所まつり 11/3	体験コーナー（押し花・めだかすくい・輪投げ等）や販売のサポート	18
64	平成28年11月	海外研修事業	10
65	平成27年12月～	声かけ訪問隊 一人暮らし高齢者、夫婦世帯、生活要支援者宅110世帯 への2人一組による声かけ訪問	176
	平成28年4月～	交流サロンの運営 子どもから高齢者誰れでも集えるサロンの運営 調 理と接客等	114

	時期・期間	ボランティアの内容・役割	延べ人数(人)
66	H28年1～5月、10～12月	土日のスポーツ指導	120
67	1月、7月	地区のお祭り(年2回)	30
68	H28.1.1～H28.12.31	保護犬、猫の飼育(お世話)	20
69	平成28年1月～現在	健康講座のスタッフ	1
70	3月～11月頃まで	児童への声かけ、ビオトープの補修整備作業	30
71	H28年3月、4月・5月	宍道湖の環境イベント	20
	H28年4月	大会の運営スタッフ	12
	H28年9月	大会の運営スタッフ	18
72	3月	ボランティアフェスティバルの弁当づくり、魚干物販売	20
	11月	小学校 魚のさばき方教室	84
	7月	そうめん流しと海遊び(サザエ取り)	100
		小学5年生の総合学習の時間、体験に4～5回来訪	
73	1日	健康フェア	5
74	イベント時(当日のみ)	イベントの手伝い	70

《受入延べ人数》

上記の回答のうち、ボランティア受入延べ人数を団体ごとに集計したところ、85 団体中 71 団体が記入し、総計は 6,602 人、平均は 94 人であった。

カテゴリー別にみると、「10 人以上 30 人未満」（23.5%）が最も多く、これに「100 人以上」（21.2%）が続いている。

図表Ⅱ-35 ボランティア受入延べ人数－団体種類（NA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
10人未満	13	15.3%	10	16.1%	3	13.0%
10人以上30人未満	20	23.5%	16	25.8%	4	17.4%
30人以上50人未満	8	9.4%	4	6.5%	4	17.4%
50人以上100人未満	11	12.9%	8	12.9%	3	13.0%
100人以上	19	22.4%	15	24.2%	4	17.4%
不明	14	16.5%	9	14.5%	5	21.7%
ボランティア受入のある団体	85	100.0%	62	100.0%	23	100.0%

図表Ⅱ-36 ボランティア受入延べ人数－所在地（NA）

回答	全体		所在地			
			松江・出雲		その他の市町村	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
10人未満	13	15.3%	5	12.2%	8	18.2%
10人以上30人未満	20	23.5%	10	24.4%	10	22.7%
30人以上50人未満	8	9.4%	5	12.2%	3	6.8%
50人以上100人未満	11	12.9%	6	14.6%	5	11.4%
100人以上	19	22.4%	11	26.8%	8	18.2%
不明	14	16.5%	4	9.8%	10	22.7%
ボランティア受入のある団体	85	100.0%	41	100.0%	44	100.0%

(9) ボランティア募集活動

団体のボランティア募集活動の実施状況について尋ねたところ、以下の結果となった。
(この質問は、ボランティアを受入れたことが「ある」と回答した 85 先に尋ねた)

これらの活動のうち、積極的活動（「頻繁に実施している」、「時々実施している」の合計を指す）の割合の高い項目は、「会員への依頼」（56.5%）、「役員への依頼」（48.2%）、「知人への依頼」（51.8%）、「行政への依頼」（28.2%）、「職員への依頼」（25.9%）となっている。

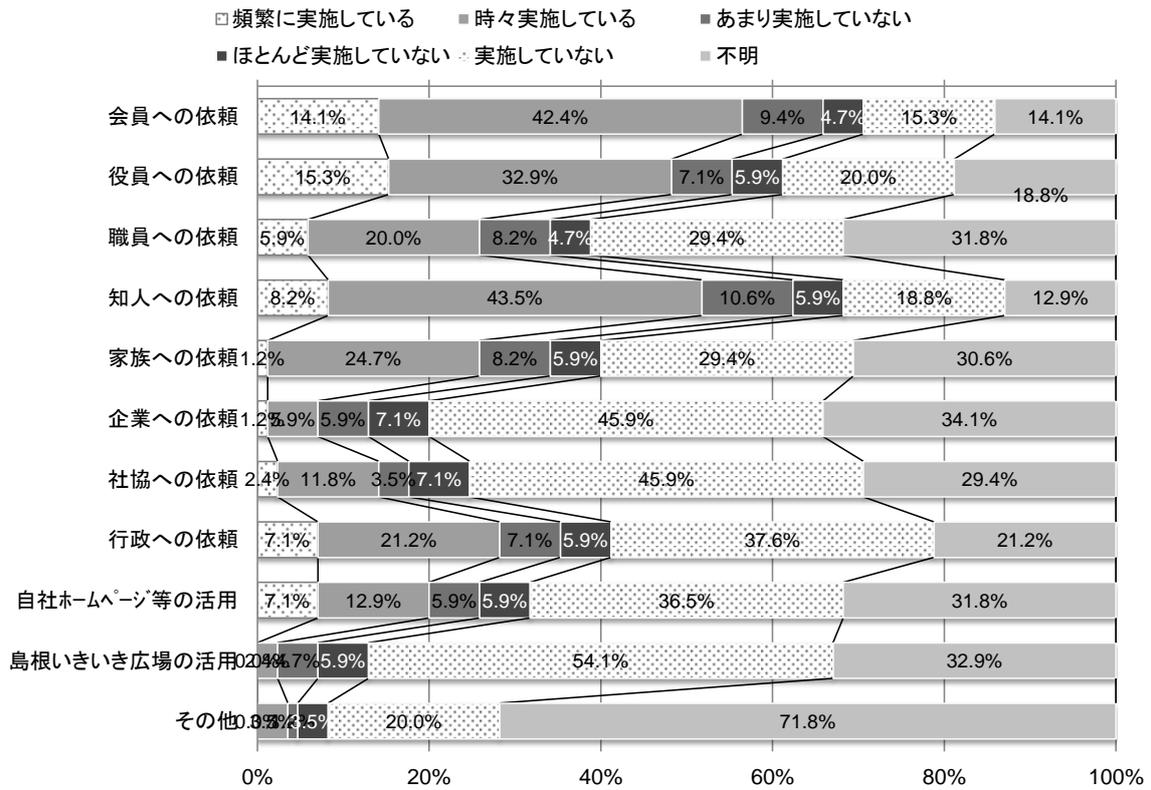
一方、消極的活動（「ほとんど実施していない」、「実施していない」の合計を指す）の割合が高い項目は、「企業への依頼」、「社協への依頼」（ともに 52.9%）、「島根いきいき広場の活用」（60.0%）、「行政への依頼」（43.5%）、「自社ホームページ等の活用」（42.42%）、「職員への依頼」（34.1%）となっている。

このうち、「行政への依頼」、「職員への依頼」に関しては、積極的活動の団体、消極的活動の団体に二極化する結果となった。

なお、「その他」の具体的な内容への記入には、「機関紙の活用」、「SNS」の回答を得た。

図表Ⅱ-37 ボランティア募集活動の実施状況（SA）

募集活動		頻繁に実施している	時々実施している	あまり実施していない	ほとんど実施していない	実施していない	不明	ボランティア受入あり合計
会員への依頼	件数	12	36	8	4	13	12	85
	構成比	14.1%	42.4%	9.4%	4.7%	15.3%	14.1%	100.0%
役員への依頼	件数	13	28	6	5	17	16	85
	構成比	15.3%	32.9%	7.1%	5.9%	20.0%	18.8%	100.0%
職員への依頼	件数	5	17	7	4	25	27	85
	構成比	5.9%	20.0%	8.2%	4.7%	29.4%	31.8%	100.0%
知人への依頼	件数	7	37	9	5	16	11	85
	構成比	8.2%	43.5%	10.6%	5.9%	18.8%	12.9%	100.0%
家族への依頼	件数	1	21	7	5	25	26	85
	構成比	1.2%	24.7%	8.2%	5.9%	29.4%	30.6%	100.0%
企業への依頼	件数	1	5	5	6	39	29	85
	構成比	1.2%	5.9%	5.9%	7.1%	45.9%	34.1%	100.0%
社協への依頼	件数	2	10	3	6	39	25	85
	構成比	2.4%	11.8%	3.5%	7.1%	45.9%	29.4%	100.0%
行政への依頼	件数	6	18	6	5	32	18	85
	構成比	7.1%	21.2%	7.1%	5.9%	37.6%	21.2%	100.0%
自社ホームページ等の活用	件数	6	11	5	5	31	27	85
	構成比	7.1%	12.9%	5.9%	5.9%	36.5%	31.8%	100.0%
島根いきいき広場の活用	件数	0	2	4	5	46	28	85
	構成比	0.0%	2.4%	4.7%	5.9%	54.1%	32.9%	100.0%
その他	件数	0	3	1	3	17	61	85
	構成比	0.0%	3.5%	1.2%	3.5%	20.0%	71.8%	100.0%



(10) ボランティア受入者数の動向

1年前と比較したボランティア受入者数の変化について尋ねたところ、「変わらない」(69.4%)が最も多く、これに「増えている」(20.0%)が続いている。

団体種類別にみると、NPO法人では「変わらない」(74.2%)と4分の3近くを占めている。

また、所在地別にみると、松江・出雲の団体では「増えている」が31.7%を占め、その他の市町村よりも高い。

(この質問は、ボランティアを受入れたことが「ある」と回答した85先に尋ねた)

図表Ⅱ-38 ボランティア受入者数の動向－団体種類 (SA)

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
とても増えている	1	1.2%	1	1.6%	0	0.0%
増えている	17	20.0%	11	17.7%	6	26.1%
変わらない	59	69.4%	46	74.2%	13	56.5%
減っている	5	5.9%	3	4.8%	2	8.7%
不明	3	3.5%	1	1.6%	2	8.7%
ボランティア受入あり合計	85	100.0%	62	100.0%	23	100.0%

図表Ⅱ-39 ボランティア受入者数の動向－所在地 (SA)

回答	全体		所在地			
			松江・出雲		その他の市町村	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
とても増えている	1	1.2%	0	0.0%	1	2.3%
増えている	17	20.0%	13	31.7%	4	9.1%
変わらない	59	69.4%	26	63.4%	33	75.0%
減っている	5	5.9%	2	4.9%	3	6.8%
不明	3	3.5%	0	0.0%	3	6.8%
ボランティア受入あり合計	85	100.0%	41	100.0%	44	100.0%

(11) ボランティア募集活動に対する今後の意向

ボランティア募集に対する今後の意向を尋ねたところ、増加希望（「積極的に増やしたい」。「できれば増やしたい」の合計を指す）は、全体の47.1%を占めている。これに次いで、「現状維持で良い」が続いている。一方で、減少希望（「あまり増やしたくない」、「減らしたい」の合計を指す）は、全体の2.3%と低い結果となっている。

ボランティア受入の有無別にみると、受入ありの団体では、増加希望が6割を占め、「現状維持で良い」が3割超となっている。受入なしの団体でも3割超が増加希望と回答しており、ボランティア受入に前向きな姿勢がみられる。また、受入ありの団体について、受入者の動向別にみると、「増えている」団体では、増加希望が多く、「変わらない」団体でも増加希望が5割超を占め、「現状維持で良い」（44.1%）に分かれている。

図表Ⅱ-40 募集活動の今後の意向（SA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
積極的に増やしたい	21	12.2%	13	11.1%	8	14.5%
できれば増やしたい	60	34.9%	43	36.8%	17	30.9%
現状維持でよい	56	32.6%	42	35.9%	14	25.5%
あまり増やしたくない	4	2.3%	3	2.6%	1	1.8%
減らしたい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
分からない	21	12.2%	13	11.1%	8	14.5%
不明	10	5.8%	3	2.6%	7	12.7%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

図表Ⅱ-41 募集活動の今後の意向－受入の有無別（SA）

回答	ボランティア受入の有無					
	受入あり		受入なし		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
積極的に増やしたい	16	18.8%	5	6.1%	0	0.0%
できれば増やしたい	36	42.4%	23	28.0%	1	20.0%
現状維持でよい	29	34.1%	26	31.7%	1	20.0%
あまり増やしたくない	0	0.0%	4	4.9%	0	0.0%
減らしたい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
分からない	1	1.2%	20	24.4%	0	0.0%
不明	3	3.5%	4	4.9%	3	60.0%
合計	85	100.0%	82	100.0%	5	100.0%

図表Ⅱ-42 募集活動の今後の意向－受入者の動向（SA）

回答	ボランティア受入者の動向（1年前の変化）									
	とても増えている		増えている		変わらない		減っている		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
積極的に増やしたい	0	0.0%	7	41.2%	7	11.9%	1	20.0%	1	33.3%
できれば増やしたい	1	100.0%	7	41.2%	25	42.4%	3	60.0%	0	0.0%
現状維持でよい	0	0.0%	1	5.9%	26	44.1%	1	20.0%	1	33.3%
あまり増やしたくない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減らしたい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
分からない	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	0	0.0%	0	0.0%
不明	0	0.0%	2	11.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%
合計	1	100.0%	17	100.0%	59	100.0%	5	100.0%	3	100.0%

(12) 今後の人材確保で必要とするスキル・ノウハウ・人材

今後の人材確保において、必要とするスキル・ノウハウ・人材について尋ねたところ、以下の結果となった。

会員、役員、職員、ボランティアの種類ごとに必要としているスキル・ノウハウをみると、職員に対しては、「庶務・会計」、「給与計算・労務管理」、「ホームページの作成」、「ホームページ・ブログ・Facebookの更新」、「チラシ等の作成」、「企画力」、「事業に関わる専門知識」等を求める割合が高い。このうち、「事業に関わる専門知識」の具体的な内容を記述いただいたところ、次頁の表にあるような回答を得た。

役員に対しては、「マネジメント力」、「企画力」、「調査・分析力」、「資金調達力」、「ネットワーク」等を求める割合が高い。

会員に対しては、「ネットワーク」、「資金調達力」、「ホームページ・ブログ・Facebookの更新」等を求める割合が高い。

ボランティアに対しては、全般的に選択割合が低いものの、中でも「ホームページの作成」、「ホームページ・ブログ・Facebookの更新」、「ネットワーク」の割合が高い結果となっている。

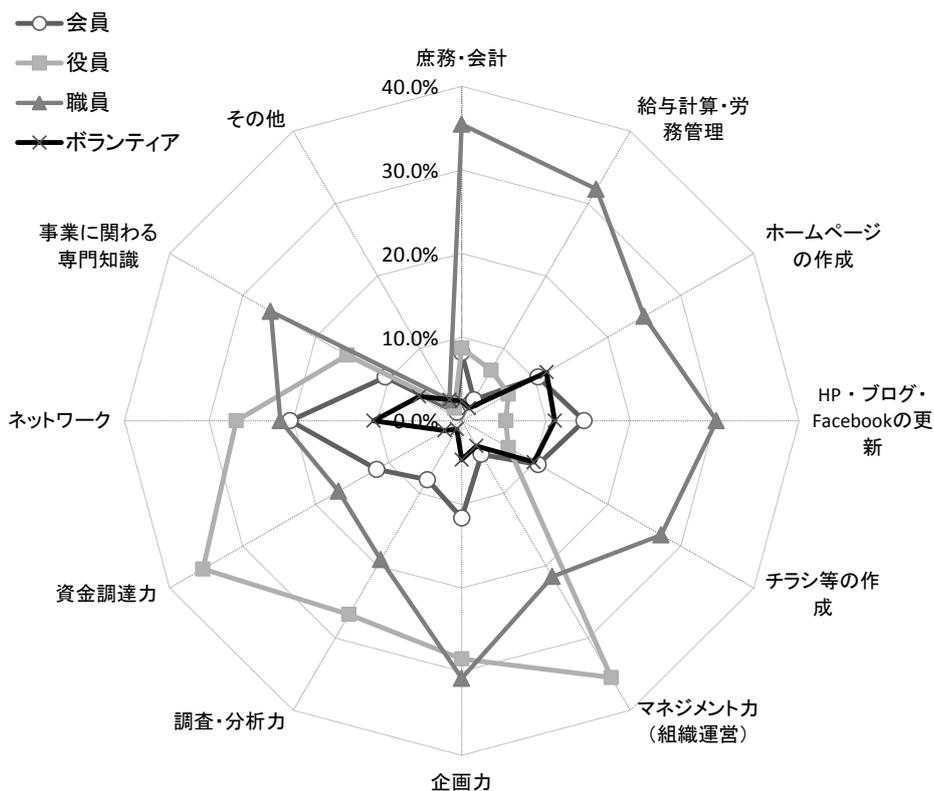
なお、「企画力」は、役員(28.5%)、職員(30.8%)で、「ネットワーク」は、会員(20.3%)、役員(26.7%)、職員(21.5%)で高い結果となり、職種を問わず共通して求められるスキル・ノウハウといえる。

図表Ⅱ-43 必要とするスキル・ノウハウ・人材 (MA)

スキル・ノウハウ・人材		会員	役員	職員	ボランティア	不要	合計
庶務・会計	件数	14	15	61	4	91	172
	構成比	8.1%	8.7%	35.5%	2.3%	52.9%	100.0%
給与計算・労務管理	件数	5	12	55	3	102	172
	構成比	2.9%	7.0%	32.0%	1.7%	59.3%	100.0%
ホームページの作成	件数	18	11	43	20	95	172
	構成比	10.5%	6.4%	25.0%	11.6%	55.2%	100.0%
HP・ブログ・Facebookの更新	件数	25	9	52	19	88	172
	構成比	14.5%	5.2%	30.2%	11.0%	51.2%	100.0%
チラシ等の作成	件数	18	11	47	17	93	172
	構成比	10.5%	6.4%	27.3%	9.9%	54.1%	100.0%
マネジメント力(組織運営)	件数	8	61	37	6	79	172
	構成比	4.7%	35.5%	21.5%	3.5%	45.9%	100.0%
企画力	件数	20	49	53	8	75	172
	構成比	11.6%	28.5%	30.8%	4.7%	43.6%	100.0%
調査・分析力	件数	14	46	33	2	102	172
	構成比	8.1%	26.7%	19.2%	1.2%	59.3%	100.0%
資金調達力	件数	20	61	29	4	87	172
	構成比	11.6%	35.5%	16.9%	2.3%	50.6%	100.0%
ネットワーク	件数	35	46	37	18	88	172
	構成比	20.3%	26.7%	21.5%	10.5%	51.2%	100.0%
事業に関わる専門知識	件数	18	27	45	10	100	172
	構成比	10.5%	15.7%	26.2%	5.8%	58.1%	100.0%
その他	件数	2	3	5	5	160	172
	構成比	1.2%	1.7%	2.9%	2.9%	93.0%	100.0%

※注1：複数回答の構成比は、(回答の件数) ÷ (回答したNPO・団体の数) である

注2：複数回答のため、構成比の合計は100%とならない。以下同様。



選択肢のうち、「事業に関わる専門知識」、「その他」について、具体的な内容を尋ねたところ、以下の回答を得た。

“事業に関わる専門知識”の記入回答

	記述内容
1	インターネット
2	国際文化理解
3	農業
4	劇場専門職 照明・音響
5	たすけあい活動
6	若手
7	技術指導講師
8	社会福祉
9	介護者
10	指導など
11	松江の歴史や文化など
12	飲食、販売
13	農業
14	土木作業など
15	音楽活動
16	サービス管理責任者等

“その他”の記入回答

	記述内容
1	地域活動の推進役
2	観光施設の受付案内業務
3	翻訳、通訳
4	イベント運営
5	介護
6	広報・マーケティング
7	地域コーディネーター
8	ガバナンス（組織運営）、リスク管理
9	イベント開催などの手伝い等
10	イベントのスタッフ
11	調理員

3. 経営資源（モノ）について

(1) 物品受入の有無

企業等から物品の提供を受けたことがあるかを尋ねたところ、「あり」が25.0%、「なし」が71.5%となった。全体の4分の1の団体で、何らかの物品の提供を受けている。

また、団体種類別にみると、NPO法人はその他の団体よりも、受入ありの割合が高い。

図表Ⅱ-44 物品の受入－団体種類（SA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
あり	43	25.0%	34	29.1%	9	16.4%
なし	123	71.5%	80	68.4%	43	78.2%
不明	6	3.5%	3	2.6%	3	5.5%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

図表Ⅱ-45 物品の受入－所在地（SA）

回答	全体		所在地					
			松江・出雲		その他の市町村		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
あり	43	25.0%	19	23.5%	23	25.6%	1	100.0%
なし	123	71.5%	61	75.3%	62	68.9%	0	0.0%
不明	6	3.5%	1	1.2%	5	5.6%	0	0.0%
合計	172	100.0%	81	100.0%	90	100.0%	1	100.0%

図表Ⅱ-46 主な活動分野－物品受入の有無（MA）

回答	全体		物品受入の有無					
			あり		なし		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
子どもを支える	55	32.0%	23	53.5%	31	25.2%	1	16.7%
福祉を支える	80	46.5%	25	58.1%	53	43.1%	2	33.3%
外国人を支える	10	5.8%	3	7.0%	6	4.9%	1	16.7%
保健・医療を支える	31	18.0%	8	18.6%	22	17.9%	1	16.7%
社会教育を支える	39	22.7%	13	30.2%	25	20.3%	1	16.7%
経済を支える	37	21.5%	7	16.3%	27	22.0%	3	50.0%
地域を応援する	100	58.1%	24	55.8%	73	59.3%	3	50.0%
働く人を応援する	19	11.0%	4	9.3%	13	10.6%	2	33.3%
文化・芸術・スポーツを支える	49	28.5%	12	27.9%	35	28.5%	2	33.3%
自然環境を守る	48	27.9%	8	18.6%	36	29.3%	4	66.7%
被災者を支える	4	2.3%	1	2.3%	2	1.6%	1	16.7%
その他	19	11.0%	7	16.3%	11	8.9%	1	16.7%
不明	2	1.2%	0	0.0%	2	1.6%	0	0.0%
全体	172	100.0%	43	100.0%	123	100.0%	6	100.0%

《物品の受入実績》

物品の受入実績について、「誰から」、「何を」、「どれくらい」の3項目で尋ねたところ、以下のような回答を得た。

	誰から	何を	どれくらい
1	大手スーパー	プリペイドカード（キッチンペーパー、マスク、洗剤等と交換）	約2万円
2	社会福祉協議会	古米	60kg
	社会福祉協議会	食品等	
3	企業	紙・封筒類	2箱
	個人	植栽（苗木）	3本
	個人	和服・衣類（古着）	60～70着
4	助成財団	車（福祉車）	2台
	テレビ局	車（福祉車）	1台
5	企業	氷	シーズン中トレーニング必要分（月15日×10ヵ月）
	企業	補食	200食
6	企業	スポーツドリンク	100本くらい
7	企業	MEノベルティー商品	300個
8	個人	膳	30
9	地元企業、支援団体	紙類	ニュース配布のための紙 12回×5000枚ぐらい
10	地元企業	椅子、机、棚等	椅子（100脚）、机（3）、棚（3）
11	地域住民	古着	100着
	地域住民	フリーマーケット品物	50
12	地域住民	陶器、衣類、生活用品など	200～300品
	助成財団	車両（福祉車）	1台
13	企業	エアコン	1台
	助成財団	福祉車両	1台
	助成財団	特殊浴槽	1台
14	大手スーパー	日用品	5万円程度
15	金融機関	キャビネット、長机	3
	金融機関	キャビネット	3
16	金融機関	雑貨	会員数+α 30位
17	個人	古タオル・バスタオル	300枚くらい
	個人	犬猫のフード	
18	個人	布団、古着、こたつ	布団10組、古着やシーツを大量
19	大手スーパー	ティッシュペーパー、トイレトペーパー	商品券として1万円分
20	個人	白米	30kg
21	企業	スポーツ用具	60万円分
	助成財団	ライフジャケット（キッズ用）	30着
22	企業	缶飲料	4ケース（96本）
	商店	農産加工品、電化製品、スポーツ用品、花、お店の商品など	
	会員	時計、商品券など	

	誰から	何を	どれくらい
23	通信会社	食器など	150点
	近隣の方々	食材	常時
	会員	家電など	
24	金融機関	スポーツ用品	レクリエーション用具（10万円相当）
25	製造メーカー	菓子	
26	大手スーパー	買い物カード（インク）	8,000円
27	知人	古着	100着
	知人	タオル	100枚
28	企業	パソコン	1台
	企業	机	5台
	他のNPO法人	書類棚	1台
	個人	本棚	2つ
	個人	冷蔵庫、テーブル、掃除機	各1
29	金融機関	PR品	20
	JA	PR品	20
30	企業（本社）	資金	5,000,000円
31	経済団体	カメラ、プリンター、本、オモチャ	
32	金融機関	テレビ	1台
33	助成財団	自動車	2台
	企業	パソコン	3台
	企業	野菜乾燥機	1台
34	企業	食材	500名分
35	助成財団	福祉車両	2台
	テレビ局	福祉車両	1台
	経済団体	福祉車両	1台
36	助成財団	車両	2台
	企業	炊飯器	1台
	企業	冷蔵庫	1台
37	中間支援団体	パソコン	1台
38	一般者	車（中古）	1台
39	—	コピー機	1台
	—	耕運機	1台
	企業	環境調査資材	一式
40	社会福祉協議会	車椅子	2
41	社会福祉協議会	玄米	4袋

主な受入実績

車両関係	14台
家電関係	18件
（うちパソコン）	（6件）

(2) 物品の受入動向の変化

1年前と比較した物品の受入動向を尋ねたところ、「変わらない」が6割を占めて最も多い。次いで、「減っている」(25.6%)、「増えている」がつづく。

(この質問は、物品を受入れたことが「ある」と回答した43先に尋ねた)

図表Ⅱ-47 物品の受入動向の変化－団体種類 (SA)

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
	件数	構成比	NPO法人		その他	
			件数	構成比	件数	構成比
とても増えている	1	2.3%	0	0.0%	1	11.1%
増えている	5	11.6%	4	11.8%	1	11.1%
変わらない	26	60.5%	20	58.8%	6	66.7%
減っている	11	25.6%	10	29.4%	1	11.1%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
物品の受入あり団体	43	100.0%	34	100.0%	9	100.0%

図表Ⅱ-48 物品の受入動向の変化－所在地 (SA)

回答	全体		所在地					
	件数	構成比	松江・出雲		その他の市町村		不明	
			件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
とても増えている	1	2.3%	1	5.3%	0	0.0%	0	0.0%
増えている	5	11.6%	4	21.1%	1	4.3%	0	0.0%
変わらない	26	60.5%	9	47.4%	16	69.6%	1	100.0%
減っている	11	25.6%	5	26.3%	6	26.1%	0	0.0%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
物品の受入あり団体	43	100.0%	19	100.0%	23	100.0%	1	100.0%

(3) 物品受入に対する今後の意向

物品受入に対する今後の意向について尋ねたところ、増加希望（「積極的に増やしたい」、「できれば増やしたい」の合計を指す）は、全体の 37.8%を占めている。これに次いで、「現状維持でよい」（27.9%）が続いている。

一方で、減少希望（「あまり増やしたくない」、「減らしたい」の合計を指す）は 5%を下回っており、減らしたいという回答は 0 件であった。

図表Ⅱ－49 物品受入の今後の意向－団体種類（SA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
	件数	構成比	NPO法人		その他	
			件数	構成比	件数	構成比
積極的に増やしたい	17	9.9%	14	12.0%	3	5.5%
できれば増やしたい	48	27.9%	31	26.5%	17	30.9%
現状維持でよい	48	27.9%	36	30.8%	12	21.8%
あまり増やしたくない	8	4.7%	6	5.1%	2	3.6%
減らしたい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
分からない	38	22.1%	26	22.2%	12	21.8%
不明	13	7.6%	4	3.4%	9	16.4%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

図表Ⅱ－50 物品受入の今後の意向－所在地（SA）

回答	全体		所在地					
	件数	構成比	松江・出雲		その他の市町村		不明	
			件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
積極的に増やしたい	17	9.9%	10	12.3%	7	7.8%	0	0.0%
できれば増やしたい	48	27.9%	14	17.3%	33	36.7%	1	100.0%
現状維持でよい	48	27.9%	26	32.1%	22	24.4%	0	0.0%
あまり増やしたくない	8	4.7%	6	7.4%	2	2.2%	0	0.0%
減らしたい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
分からない	38	22.1%	20	24.7%	18	20.0%	0	0.0%
不明	13	7.6%	5	6.2%	8	8.9%	0	0.0%
合計	172	100.0%	81	100.0%	90	100.0%	1	100.0%

《物品の受入希望》

受入を希望する物品について、「何のために」、「何を」、「どれくらい」の3項目で尋ねたところ、以下のような回答を得た。

	何のために	何を	どれくらい
1	設備拡張のため	簡易トイレ（洋式）	1台
2	防災、災害活動	防災資機材	多いほどよい
3	調査、解析	腐朽診断器	1台
	調査、解析	土壌診断器	1台
4	菓子製造用（衛生的に作業するため）	キッチンペーパー	3箱
	菓子製造用（衛生的に作業するため）	マスク	3箱
	菓子製造用（衛生的に作業するため）	洗濯機	1台
5	用具の収納や教室用部屋	倉庫	1戸
	用具運搬用	ワゴン車	1台
	会員の送迎用	ワゴン車又はマイクロバス	1台
6	生活困きゆう者	米等食品	出来るだけ多く
7	参加者送迎	車両	1台
	事業PR・販促	プロジェクター	1機
8	チケット集計 管理	パソコン又はタブレット	2～3台
	観客送迎（借用、必要なとき）	車両（ワンボックスorワゴン）	1台
9	古い醤油小屋等（崩れていても菌が生きていればよい）	しょう油、味噌、漬物等の貯蔵、発酵	1～3
	施設建設	廃材、廃納屋、廃屋	5
10	デイ利用者のための車	福祉車	1台
11	サロンで利用するため	パソコン	5台
	サロンで利用するため	テレビ	1台
	サロンで利用するため	スチームオーブン	1台
12	スクール運営のため	子ども用サッカーゴール	1対
		子ども用ボール	20球
		子ども用コーン	10本
13	利用者送迎用	自動車	1台
	作業用	作業台	3台
	収納用	ロッカー	3台
14	庶務・会計	パソコン	2
15	アート作成	画材	絵の具一式、額70台
16	書類保管用	書棚	2セット
	面談用	応接セット	
17	リメイク帽子・袋の製作のために	古い着物	20着
18	住民移送、住民利便性向上の為	自動車	9人乗用1台
19	事務関連用	パソコン	あと1台
	バザー開催のため	物品全般	どんなものでも構いません
20	環境用	エアコン	10台
21	支援用	車椅子	2台
22	盆踊り商品として	日用品	3万円程度
23	事務処理用	パソコン	1台
	書類保管用	キャビネット	2台くらい

	何のために	何を	どれくらい
24	動物飼育用	フード	月50kgくらい
	動物飼育用	トイレシート	40×365=14,600枚
25	経理用	パソコン	1台
26	イベントのため	机・椅子	机5台、椅子20脚
27	経理用	会計ソフト	一式
28	武道館用	ファンヒーター	1台
	トレーニング室用	トレーニング機器	2台
	経理用	パソコン	1台
29	パソコン講座で使用	パソコン	5台
	パソコン講座で使用	タブレット	10台
30	移動用	車両	1台
31	職員の腰痛対策	介護用ロボット	1台
	施設の用具として	吊り下げストレッチャー	1台
32	経理用	パソコン	1台
33	障がい者スポーツの振興用	スポーツ用具	普及用3種類
34	利用者の工賃向上	アルミ	いくらでも
35	交流会用	ガス台（コンロ）	1台
	交流会用（食品保存）	冷蔵庫	1台
	交流会用	ストーブ	2台
36	経費負担減のため	電動ベッド	3台
37	ホームページ管理	パソコン	1台
38	—	パソコン	1台
	—	プロジェクター	1台
	—	スクリーン	1台
39	純和紙を漉いている	みつまたの皮（原木）	出来るだけ多く
40	リスク回避	パソコン用のセキュリティソフト	5台分
41	環境保全のための機具	草刈り機、チェーンソーなど	5台
42	会計ソフト	ソフトウェア	1
	ホームページソフト	ソフトウェア	1
43	イベント用	大型テント	1台（50,000円）
	竹林伐採用	竹粉碎機	2台
44	事務	事務用品	
45	なごやか寄り合いゲーム用		
46	経理、企画作成	パソコン	3台
47	貸し出し用	麻雀卓	10台
48	経理（事務用）	パソコン	1台
	子どもたちの遊び	遊具	多数
49	送迎用及び配送用	自動車	3台
	食品販売用（米飯提供）	炊飯器（ガス用）	2台
	食品販売用（米飯提供）	ガスオーブンレンジ	1台
50	イベント紹介用	ビデオカメラ	1台
	ホームページ・ブログ・FaceBook・パンフレット作成更新用	パソコン	1台
	雨水活用	水槽	2個（200L以上）

	何のために	何を	どれくらい
51	事務・デザイン用	パソコン	1台
	デザイン用	Illustrator、Photographshopなど	1つ
	撮影用	カメラ	1台
52	障がい者作業機械	水洗機 35 k	1台
	経理	パソコン	2台
53	高齢者送迎	自動車	1台
	除雪支援	除雪機	1台
54	大会参加者用の食材	食材	500名分
55	会員管理	パソコン	1台
56	通所介護利用者の送迎	福祉車両	3台（更新を含む）
57	パソコン教室	パソコン	5台
58	各種団体のチラシ	雑誌ラック	1台
59	事務作業（経理・文書作成・記録）	パソコン	15台
	事務作業（経理・文書作成・記録）	ネットワークシステムサーバー	1台
60	経理	パソコン	2台
	調理室の整備	調理機材	
61	活動費		
	インターネット販売用	パソコン	1台
62	地域の環境美化イベントのため	鯉のぼり	50匹
63	営業用	車	1台
	作業用	W i F i	1台
64	経理用・事務用	パソコン	2台
65	宿泊用	ふとん	5組
66	介護	ポータブルトイレ	6
	支援用	移動トイレ	2
67	作業機械	管理機	1
68	経理用	パソコン	1台
	運営に広く活用	自動車（軽ワゴン車）	1台

主な希望

車両関係	17台
家電関係	104件
(うちパソコン)	(57件)

4. 経営資源（カネ）について

(1) 財務状況について

NPO 及び地域づくり団体に活動報告書・収支計算書及び決算資料等をもとに、財務状況に関する以下の金額を尋ねた。

A. 収益の合計

収益合計	千円
------	----

B. 収益の内訳

①会費	千円
②寄付	千円
③補助金・助成金	千円
ア. 補助金・助成金（国・地方自治体）	千円
イ. 補助金・助成金（民間団体）	千円
ウ. その他（ ）	千円
④自主事業収益	千円
⑤委託事業収益	千円
⑥その他収益（ ）	千円

C. 費用の合計

費用合計	千円
------	----

D. 費用の内訳

①事業費	千円
②管理費	千円

E. 正味財産の合計

正味財産合計額	千円
---------	----

《収益合計》

収益合計は、161 団体が記入しており、総計は 5,088,812.9 千円、数値を記入した 161 団体の 1 団体あたりの平均は、31,607.5 千円となった。

カテゴリー別では、「30,000 千円以上」が最も多く、24.4%を占めている。

図表Ⅱ-51 収益合計 (NA)

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0円未満-20,000千円以上	1	0.6%	1	0.9%	0	0.0%
0円	4	2.3%	2	1.7%	2	3.6%
1円以上1,000千円未満	36	20.9%	16	13.7%	20	36.4%
1,000千円以上3,000千円未満	14	8.1%	11	9.4%	3	5.5%
3,000千円以上5,000千円未満	15	8.7%	8	6.8%	7	12.7%
5,000千円以上10,000千円未満	22	12.8%	19	16.2%	3	5.5%
10,000千円以上30,000千円未満	27	15.7%	20	17.1%	7	12.7%
30,000千円以上	42	24.4%	39	33.3%	3	5.5%
不明	11	6.4%	1	0.9%	10	18.2%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

《収益の内訳》

①会費

収益の内訳で「会費」は、157 団体が記入しており、総計は 50,872 千円、数値を記入した 157 団体の 1 団体あたりの平均は、324.0 千円となった。

カテゴリー別では、「100 千円以上 300 千円未満」が最も多く、25.0%を占めている。

図表Ⅱ-52 会費 (NA)

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0円	29	16.9%	9	7.7%	20	36.4%
10千円未満	1	0.6%	1	0.9%	0	0.0%
10千円以上50千円未満	32	18.6%	25	21.4%	7	12.7%
50千円以上100千円未満	25	14.5%	19	16.2%	6	10.9%
100千円以上300千円未満	43	25.0%	37	31.6%	6	10.9%
300千円以上500千円未満	6	3.5%	5	4.3%	1	1.8%
500千円以上	21	12.2%	18	15.4%	3	5.5%
不明	15	8.7%	3	2.6%	12	21.8%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

②寄付

収益の内訳で「寄付」は、157団体が記入しており、総計は47,893千円、数値を記入した157団体の1団体あたりの平均は、305.0千円となった。

カテゴリー別では、「100千円以上300千円未満」が最も多く、12.2%を占めている。

図表Ⅱ-53 寄付 (NA)

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0円	76	44.2%	46	39.3%	30	54.5%
10千円未満	2	1.2%	2	1.7%	0	0.0%
10千円以上50千円未満	15	8.7%	11	9.4%	4	7.3%
50千円以上100千円未満	12	7.0%	11	9.4%	1	1.8%
100千円以上300千円未満	21	12.2%	19	16.2%	2	3.6%
300千円以上500千円未満	11	6.4%	9	7.7%	2	3.6%
500千円以上	20	11.6%	16	13.7%	4	7.3%
不明	15	8.7%	3	2.6%	12	21.8%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

③補助金・助成金

【補助金・助成金合計】

収益の内訳で「補助金・助成金合計」は、157団体が記入しており、総計は650,681千円、数値を記入した157団体の1団体あたりの平均は、4,144.4千円となった。

カテゴリー別では、「1,000千円以上3,000千円未満」が最も多く、12.8%を占めている。

図表Ⅱ-54 補助金・助成金合計 (NA)

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0円	60	34.9%	42	35.9%	18	32.7%
100千円未満	5	2.9%	2	1.7%	3	5.5%
100千円以上300千円未満	14	8.1%	10	8.5%	4	7.3%
300千円以上500千円未満	8	4.7%	6	5.1%	2	3.6%
500千円以上1,000千円未満	15	8.7%	11	9.4%	4	7.3%
1,000千円以上3,000千円未満	22	12.8%	18	15.4%	4	7.3%
3,000千円以上5,000千円未満	6	3.5%	4	3.4%	2	3.6%
5,000千円以上10,000千円未満	11	6.4%	8	6.8%	3	5.5%
10,000千円以上	16	9.3%	13	11.1%	3	5.5%
不明	15	8.7%	3	2.6%	12	21.8%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

③補助金・助成金合計の内訳を【ア．補助金・助成金（国・地方自治体）】、【イ．補助金・助成金（民間団体）】、【ウ．その他】に別けて尋ねた。ただし、内訳を記入していない団体もあるため、③合計とア、イ、ウ合計は一致しない。

【ア．補助金・助成金（国・地方自治体）】

収益の内訳で「補助金・助成金（国・地方自治体）」は、150 団体が記入しており、総計は 521,385 千円、数値を記入した 150 団体の 1 団体あたりの平均は、3,475.9 千円となった。

カテゴリー別では、「100 千円以上 300 千円未満」、「1,000 千円以上 3,000 千円未満」が最も多く、ともに 7.6%を占めている。

図表Ⅱ－55 補助金・助成金（国・地方自治体）(NA)

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
	件数	構成比	NPO法人		その他	
			件数	構成比	件数	構成比
0円	83	48.3%	58	49.6%	25	45.5%
100千円未満	2	1.2%	1	0.9%	1	1.8%
100千円以上300千円未満	13	7.6%	11	9.4%	2	3.6%
300千円以上500千円未満	6	3.5%	6	5.1%	0	0.0%
500千円以上1,000千円未満	8	4.7%	4	3.4%	4	7.3%
1,000千円以上3,000千円未満	13	7.6%	12	10.3%	1	1.8%
3,000千円以上5,000千円未満	3	1.7%	1	0.9%	2	3.6%
5,000千円以上10,000千円未満	10	5.8%	7	6.0%	3	5.5%
10,000千円以上	12	7.0%	9	7.7%	3	5.5%
不明	22	12.8%	8	6.8%	14	25.5%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

【イ．補助金・助成金（民間団体）】

収益の内訳で「補助金・助成金（民間団体）」は、150 団体が記入しており、総計は 76,937 千円、数値を記入した 150 団体の 1 団体あたりの平均は、512.9 千円となった。

カテゴリー別では、「100 千円以上 300 千円未満」、「1,000 千円以上 3,000 千円未満」が最も多く、ともに 4.7%を占めている。

図表Ⅱ－56 補助金・助成金（民間団体）(NA)

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
	件数	構成比	NPO法人		その他	
			件数	構成比	件数	構成比
0円	115	66.9%	80	68.4%	35	63.6%
100千円未満	3	1.7%	3	2.6%	0	0.0%
100千円以上300千円未満	7	4.1%	5	4.3%	2	3.6%
300千円以上500千円未満	8	4.7%	6	5.1%	2	3.6%
500千円以上1,000千円未満	5	2.9%	4	3.4%	1	1.8%
1,000千円以上3,000千円未満	8	4.7%	7	6.0%	1	1.8%
3,000千円以上5,000千円未満	2	1.2%	2	1.7%	0	0.0%
5,000千円以上10,000千円未満	1	0.6%	1	0.9%	0	0.0%
10,000千円以上	1	0.6%	1	0.9%	0	0.0%
不明	22	12.8%	8	6.8%	14	25.5%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

【ウ. その他】

収益の内訳で補助金の「その他」は、149 団体が記入しており、総計は 25,847 千円、数値を記入した 149 団体の 1 団体あたりの平均は、173.4 千円となった。

カテゴリー別では、「100 千円未満」が最も多く、1.7%を占めている。

図表Ⅱ-57 補助金・助成金（その他）(NA)

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0円	138	80.2%	99	84.6%	39	70.9%
100千円未満	3	1.7%	2	1.7%	1	1.8%
100千円以上300千円未満	1	0.6%	1	0.9%	0	0.0%
300千円以上500千円未満	1	0.6%	1	0.9%	0	0.0%
500千円以上1,000千円未満	2	1.2%	1	0.9%	1	1.8%
1,000千円以上3,000千円未満	2	1.2%	2	1.7%	0	0.0%
3,000千円以上5,000千円未満	1	0.6%	1	0.9%	0	0.0%
5,000千円以上10,000千円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
10,000千円以上	1	0.6%	1	0.9%	0	0.0%
不明	23	13.4%	9	7.7%	14	25.5%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

④自主事業収益

収益の内訳で「自主事業収益」は、157 団体が記入しており、総計は 2,284,078.0 千円、数値を記入した 157 団体の 1 団体あたりの平均は、14,548.2 千円となった。

カテゴリー別では、「10,000 千円以上 30,000 千円未満」が最も多く、21.5%を占めている。

図表Ⅱ-58 自主事業収益（NA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
-100千円以上	1	0.6%	1	0.9%	0	0.0%
0円	41	23.8%	26	22.2%	15	27.3%
1,000千円未満	33	19.2%	20	17.1%	13	23.6%
1,000千円以上3,000千円未満	16	9.3%	12	10.3%	4	7.3%
3,000千円以上5,000千円未満	15	8.7%	10	8.5%	5	9.1%
5,000千円以上10,000千円未満	14	8.1%	11	9.4%	3	5.5%
10,000千円以上30,000千円未満	37	21.5%	34	29.1%	3	5.5%
不明	15	8.7%	3	2.6%	12	21.8%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

⑤委託事業収益

収益の内訳で「委託事業収益」は、157 団体が記入しており、総計は 1,229,727.0 千円、数値を記入した 157 団体の 1 団体あたりの平均は、7,832.6 千円となった。

カテゴリー別では、「10,000 千円以上 30,000 千円未満」が最も多く、11.6%を占めている。

図表Ⅱ－59 委託事業収益（NA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
	件数	構成比	NPO法人		その他	
			件数	構成比	件数	構成比
-200千円以上	2	1.2%	1	0.9%	1	1.8%
0円	97	56.4%	64	54.7%	33	60.0%
1,000千円未満	17	9.9%	12	10.3%	5	9.1%
1,000千円以上3,000千円未満	17	9.9%	16	13.7%	1	1.8%
3,000千円以上5,000千円未満	2	1.2%	2	1.7%	0	0.0%
5,000千円以上10,000千円未満	2	1.2%	1	0.9%	1	1.8%
10,000千円以上30,000千円未満	20	11.6%	18	15.4%	2	3.6%
不明	15	8.7%	3	2.6%	12	21.8%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

⑥その他収益

収益の内訳で「その他収益」は、157 団体が記入しており、総計は 201,543.5 千円、数値を記入した 157 団体の 1 団体あたりの平均は、1,283.7 千円となった。

カテゴリー別では、「50 千円未満」が最も多く、12.8%を占めている。

図表Ⅱ－60 その他収益（NA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
	件数	構成比	NPO法人		その他	
			件数	構成比	件数	構成比
0円	65	37.8%	36	30.8%	29	52.7%
50千円未満	22	12.8%	20	17.1%	2	3.6%
50千円以上100千円未満	17	9.9%	13	11.1%	4	7.3%
100千円以上300千円未満	12	7.0%	10	8.5%	2	3.6%
300千円以上500千円未満	11	6.4%	10	8.5%	1	1.8%
500千円以上1,000千円未満	8	4.7%	6	5.1%	2	3.6%
1,000千円以上3,000千円未満	11	6.4%	8	6.8%	3	5.5%
3,000千円以上	11	6.4%	11	9.4%	0	0.0%
不明	15	8.7%	3	2.6%	12	21.8%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

《費用合計》

費用合計は、157 団体が記入しており、総計は 4,620,682.7 千円、数値を記入した 157 団体の 1 団体あたりの平均は、29,431.1 千円となった。

カテゴリー別では、「30,000 千円以上」が最も多く、23.8%を占めている。

図表Ⅱ－61 費用合計 (NA)

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0円	3	1.7%	1	0.9%	2	3.6%
1,000千円未満	31	18.0%	14	12.0%	17	30.9%
1,000千円以上3,000千円未満	16	9.3%	11	9.4%	5	9.1%
3,000千円以上5,000千円未満	16	9.3%	10	8.5%	6	10.9%
5,000千円以上10,000千円未満	19	11.0%	17	14.5%	2	3.6%
10,000千円以上30,000千円未満	31	18.0%	23	19.7%	8	14.5%
30,000千円以上	41	23.8%	38	32.5%	3	5.5%
不明	15	8.7%	3	2.6%	12	21.8%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

《費用の内訳》

①事業費

費用の内訳で「事業費」は、155 団体が記入しており、総計は 3,719,763.0 千円、数値を記入した 155 団体の 1 団体あたりの平均は、23,998.4 千円となった。

カテゴリー別では、「1,000 千円未満」が最も多く、21.5%を占めている。

図表Ⅱ－62 事業費 (NA)

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0円	6	3.5%	4	3.4%	2	3.6%
1,000千円未満	37	21.5%	16	13.7%	21	38.2%
1,000千円以上3,000千円未満	16	9.3%	12	10.3%	4	7.3%
3,000千円以上5,000千円未満	16	9.3%	11	9.4%	5	9.1%
5,000千円以上10,000千円未満	21	12.2%	16	13.7%	5	9.1%
10,000千円以上30,000千円未満	27	15.7%	22	18.8%	5	9.1%
30,000千円以上	32	18.6%	31	26.5%	1	1.8%
不明	17	9.9%	5	4.3%	12	21.8%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

②管理費

費用の内訳で「管理費」は、155 団体が記入しており、総計は 726,070.7 千円、数値を記入した 155 団体の 1 団体あたりの平均は、4,776.7 千円となった。

カテゴリー別では、「1,000 千円未満」が最も多く、33.1%を占めている。

図表Ⅱ－63 管理費（NA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0円	21	12.2%	6	5.1%	15	27.3%
1,000千円未満	57	33.1%	45	38.5%	12	21.8%
1,000千円以上3,000千円未満	28	16.3%	24	20.5%	4	7.3%
3,000千円以上5,000千円未満	12	7.0%	11	9.4%	1	1.8%
5,000千円以上10,000千円未満	14	8.1%	10	8.5%	4	7.3%
10,000千円以上30,000千円未満	14	8.1%	12	10.3%	2	3.6%
30,000千円以上	6	3.5%	4	3.4%	2	3.6%
不明	20	11.6%	5	4.3%	15	27.3%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

《正味財産の合計》

正味財産合計は、143 団体が記入しており、総計は 1,264,855.6 千円、数値を記入した 143 団体の 1 団体あたりの平均は、8,845.1 千円となった。

カテゴリー別では、「1 円以上 1,000 千円未満」が最も多く、30.2%を占めている。

図表Ⅱ－64 正味財産合計（NA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0円未満▲30,000千円以上	20	11.6%	18	15.4%	2	3.6%
0円	11	6.4%	3	2.6%	8	14.5%
1円以上1,000千円未満	52	30.2%	38	32.5%	14	25.5%
1,000千円以上3,000千円未満	19	11.0%	16	13.7%	3	5.5%
3,000千円以上5,000千円未満	6	3.5%	6	5.1%	0	0.0%
5,000千円以上10,000千円未満	12	7.0%	11	9.4%	1	1.8%
10,000千円以上30,000千円未満	11	6.4%	9	7.7%	2	3.6%
30,000千円以上	12	7.0%	11	9.4%	1	1.8%
不明	29	16.9%	5	4.3%	24	43.6%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

(2) 活動資金の充足について

団体の活動資金の充足状況についてたずねたところ、「足りていない」(59.3%)が約6割を占め、「足りている」(32.6%)を上回っている。

所在地別にみると、「足りていない」の割合は、松江・出雲(54.3%)よりも、その他の市町村(63.3%)の方が高い結果となった。

図表Ⅱ-65 活動資金の充足－団体種類 (SA)

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
足りている	56	32.6%	42	35.9%	14	25.5%
足りていない	102	59.3%	68	58.1%	34	61.8%
不明	14	8.1%	7	6.0%	7	12.7%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

図表Ⅱ-66 活動資金の充足－所在地 (SA)

回答	全体		所在地					
			松江・出雲		その他の市町村		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
足りている	56	32.6%	30	37.0%	26	28.9%	0	0.0%
足りていない	102	59.3%	44	54.3%	57	63.3%	1	100.0%
不明	14	8.1%	7	8.6%	7	7.8%	0	0.0%
合計	172	100.0%	81	100.0%	90	100.0%	1	100.0%

図表Ⅱ-67 主な活動分野－活動資金の充足 (MA)

回答	全体		活動資金の充足					
			足りている		足りていない		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
子どもを支える	55	32.0%	16	28.6%	34	33.3%	5	35.7%
福祉を支える	80	46.5%	29	51.8%	44	43.1%	7	50.0%
外国人を支える	10	5.8%	2	3.6%	8	7.8%	0	0.0%
保健・医療を支える	31	18.0%	11	19.6%	19	18.6%	1	7.1%
社会教育を支える	39	22.7%	12	21.4%	24	23.5%	3	21.4%
経済を支える	37	21.5%	12	21.4%	23	22.5%	2	14.3%
地域を応援する	100	58.1%	29	51.8%	62	60.8%	9	64.3%
働く人を応援する	19	11.0%	4	7.1%	14	13.7%	1	7.1%
文化・芸術・スポーツを支える	49	28.5%	15	26.8%	31	30.4%	3	21.4%
自然環境を守る	48	27.9%	14	25.0%	30	29.4%	4	28.6%
被災者を支える	4	2.3%	3	5.4%	1	1.0%	0	0.0%
その他	19	11.0%	6	10.7%	10	9.8%	3	21.4%
不明	2	1.2%	1	1.8%	1	1.0%	0	0.0%
全体	172	100.0%	56	100.0%	102	100.0%	14	100.0%

(3) 不足している活動資金

不足している活動資金について、①既存事業（すでに実施している事業だが、資金次第で拡大、発展できる事業）、②新規事業（現在は実施していないが、資金次第で新たにはじめることができる事業）の2項目の使用目的と概算金額を尋ねたところ、以下の結果となった。（この設問は、活動資金が「足りていない」と回答した102先について尋ねた）

《既存事業の活動資金》

	何のために	金額（円）
1	教育研修事業	500,000
2	活動費	200,000
3	借入金返済（大雨災害復旧費返済のため）	2,000,000
4	環境調査事業	1,000,000
5	防災活動資金	50,000
6	樹木樹勢回復研修会	500,000
7	人件費	2,000,000
8	農業活動拡大	10,000,000
9	法人運営（事務費、人件費）	1,500,000
	障がい者就労継続支援施設移転・新設	35,000,000
	劇祭 事業費	8,000,000
10	学校 事業費	1,000,000
	事業運営にかかる専門スタッフ謝金等	5,000,000
11	福祉講演会	300,000
12	建物建設時の借入金返済のため	20,000,000
13	事務局専任職員を雇用し、法人管理や事業の広報、充実を図るため	3,000,000
14	維持費	10,000
15	手すり設置費・遊歩道整備	約200,000
16	システム更新費用	200,000,000
17	アンテナショップの新しい場所への移転	1,000,000
18	公衆無線LAN等の整備	1,500,000
	地域の魅力を伝える動画作成	3,000,000
19	ものづくり支援事業の機械の更新	10,000,000
20	事業（食事拠、ショップ）	1,000,000
21	人件費	不明
	研修費	不明
22	交流サロン 配食福祉サービスのボランティア賞金	100,000
	ボランティアガソリン代、コピー費用	150,000
23	事業費	不明
24	事業の内容として現行でやる以外にはないと考えている。	不明
25	事務職員雇用（常勤）	2,500,000
	運転手雇用（非常勤）	100,000
26	職員を増やす為	1,000,000
	職員給与を増やす為	1,000,000
27	人件費	2,000,000
	備品費（パソコン等）	500,000
28	鑑賞事業	1,000,000
29	作品展示をして町のよさをPRするために。	200,000～300,000

	何のために	金額（円）
30	年2回のイベント	50,000
	研修会	50,000
31	イベント費用	400,000
	イベント費用	200,000
	健康増進・介護予防トレーニング室充実事業	1,000,000
32	研修プロフェッショナル人材の採用	5,000,000
	大学校立ち上げ	300,000,000
	大学校のスタッフ人件費と事業費	40,000,000
33	介護用具購入	2,000,000
34	新規事業	5,000,000
35	民間シェルター設立運営	6,000,000
36	現状維持のため	10,000,000
37	人件費等	5,000,000
38	スタッフ人件費	2,400,000
39	人材育成・定着・研修参加	1,000,000
40	プレゼント	200,000
41	事業費	500,000
42	人件費	2,000,000
43	現施設の借入金返済のため	7,000,000
44	塾	125,000
45	環境学習	100,000
	ESD事業－持続可能な開発のための教育（ESD: Education for Sustainable Development）	100,000
46	事務局委託費	1,000,000
47	お客様用お風呂の設置	3,000,000
48	家賃	120,000
	冊子印刷代等の宣伝費	300,000
	イベント活動資金	300,000
49	自主企画事業	2,000,000
50	2年に1回、祭りを実施するため（会費2ヵ年分を積立て実施）	370,000
51	移動展	2,500,000
	新商品開発	500,000
52	貸し出し機材	300,000
	広告費	100,000
53	講演会	500,000
54	車両購入に伴う借入の返済	2,000,000
55	B型就労支援作業所のトイレ	2,500,000
	A型就労支援作業所の機械の買い替え	2,700,000
56	海岸清掃	50,000
57	道の駅管理運営	1,200,000
58	役員給与	6,000,000

	何のために	金額（円）
59	職員（スタッフ）の給与アップのため	500,000
60	CDEの資格を持った医療者が地域で密に連携を持って活動できるように	500,000
61	地域のPR、整備	100,000
	イベント開催費	50,000
62	イベント	3,000,000
63	処遇改善	5,000,000
64	大学生の受入れ	150,000
	介護留学生の招へい	200,000
65	幼稚園と地域住民の交流のためのランチルーム拡大	3,000,000
66	観光案内所の指定管理	100,000
67	神楽衣装等の購入等	1,000,000
68	平成29年度からの施設運営	1,000,000
69	事務処理	600,000
70	自主防災	100,000
71	空き家活用事業	10,000,000
72	飲食店事業	3,000,000
73	事業拡大	5,000,000
74	世代間交流施設の雨漏り修繕	5,000,000
	事業量に比し職員が不足しており増員したい	2,500,000
75	人件費	1,000,000
	車両費	1,000,000

《新規事業の活動資金》

	何のために	金額（円）
1	特になし	不明
2	事業運営費	700,000
3	現公園（運動公園）の拡大	2,000,000
4	なし	不明
5	危険木診断	500,000
	重要樹木診断調査	500,000
	樹勢回復作業	500,000
6	ソフト開発	2,000,000
7	農産物の二次加工事業	10,000,000
8	過疎地有償運送事業	5,000,000
9	地域環境整備事業	500,000
10	介護予防事業	お金、資金が必要ですが、人がいない。人材がなかなかおられないのが問題です
11	高齢者、子供誰でも集える食堂・居場所	1,000,000
12	利用者の作業室及び設備のため	10,000,000
13	手すり設置費・ピザ釜設置	約500,000
14	カフェの設置	1,000,000
15	史跡整備	500,000
	学習会	100,000
16	スクールコンサート支援	1,500,000
17	墓地公園構想	20,000,000
19	サロン事業	1,200,000
20	作品を貸し出して町のPRをするために。	400,000～700,000
21	助け合い事業 人件費、車両費、ガソリン代等	1,400,000
22	講演会	50,000
23	歴史的資源を活用した地域振興事業	10,000,000
24	健康増進・介護予防事業	1,500,000
25	クラブハウス新設	100,000,000
26	イベント	1,000,000
27	DVD製作費	300,000
	冊子発行にかかる印刷製本費	300,000
	役員等に払う日当	500,000
28	地域交流事業	500,000
29	研修会の開催	300,000
30	地域NPO立ち上げ	50,000,000
31	コンサート	3,000,000
32	小型保冷車購入に伴う借入の返済	500,000
33	古民家民泊運営	不明
34	食材の流通	不明
35	グループホーム	73,000,000
36	地元食材の拡販	2,000,000

	何のために	金額（円）
37	介護職に就いている人たちに、糖尿病患者のケアについて習熟し、積極的に参加してもらえるように	1,000,000
38	特産品の製造、販売	1,000,000
39	生活介護事業	12,000,000
	就労移行事業	9,000,000
40	配食サービス	7,000,000
41	環境美化で集落の活性化を計画	2,000,000
42	製塩事業	1,000,000
	耕作放棄地を活用して高齢者による大豆栽培	300,000
43	新規事業設備整理	5,000,000
44	特産品の栽培	1,000,000

不足する活動資金の金額を団体別に集計したところ、以下の結果となった。

《①既存事業》

既存事業について、不足している活動資金の金額を尋ねたところ、71 団体が金額を記入しており、総計は 770,775 千円、数値を記入した 68 団体の 1 団体あたりの平均は、10,855 千円となった。

カテゴリー別では、「100 万円以上～500 万円未満」が最も多く、26.5%を占めており、ほぼ同率で「100 万円未満」(25.5%)が続いている。

図表Ⅱ－68 不足している活動資金（既存事業）の金額（SA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
100万円未満	26	25.5%	16	23.5%	10	29.4%
100万円以上～500万円未満	27	26.5%	20	29.4%	7	20.6%
500万円以上～1,000万円未満	9	8.8%	7	10.3%	2	5.9%
1,000万円以上～3,000万円未満	6	5.9%	5	7.4%	1	2.9%
3,000万円以上～1億円未満	1	1.0%	1	1.5%	0	0.0%
1億円以上	2	2.0%	1	1.5%	1	2.9%
不明	31	30.4%	18	26.5%	13	38.2%
資金が不足している団体	102	100.0%	68	100.0%	34	100.0%

《②新規事業》

新規事業について、不足している活動資金の金額を尋ねたところ、38 団体が金額を記入しており、総計は 341,850 千円、数値を記入した 38 団体の 1 団体あたりの平均は、8,996 千円となった。

カテゴリー別では、「100 万円以上～500 万円未満」が最も多く、17.6%を占めている。

図表Ⅱ－69 不足している活動資金（新規事業）の金額（SA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
100万円未満	9	8.8%	4	5.9%	5	14.7%
100万円以上～500万円未満	18	17.6%	15	22.1%	3	8.8%
500万円以上～1,000万円未満	3	2.9%	3	4.4%	0	0.0%
1,000万円以上～3,000万円未満	5	4.9%	4	5.9%	1	2.9%
3,000万円以上～1億円未満	2	2.0%	1	1.5%	1	2.9%
1億円以上	1	1.0%	1	1.5%	0	0.0%
不明	64	62.7%	40	58.8%	24	70.6%
資金が不足している団体	102	100.0%	68	100.0%	34	100.0%

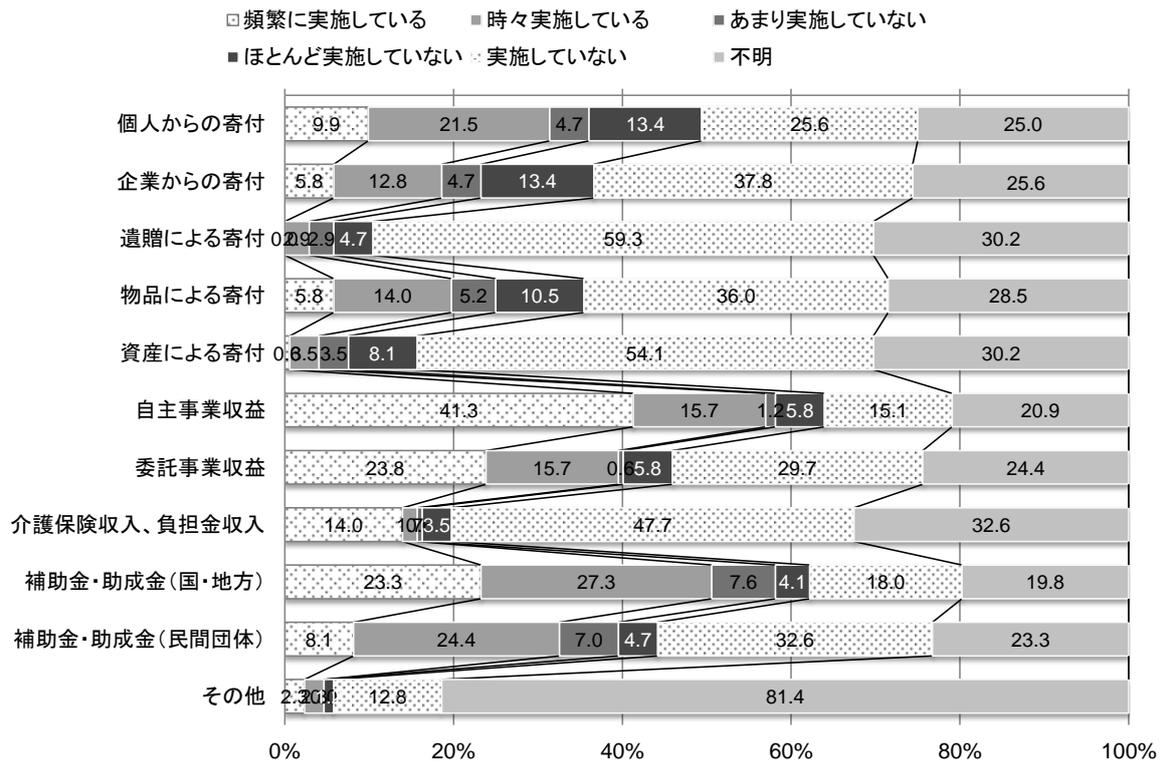
(4) 資金調達活動の実施状況

団体の資金調達活動の実施状況について、以下の項目を尋ねたところ、実施度（「頻繁に実施している」「時々実施している」の合計を指す）は「自主事業収益」が約 6 割と最も高く、これに「補助金・助成金（国・地方自治体）」が 5 割、「委託事業収益」が約 4 割となっている。

未実施度（「実施していない」「ほとんど実施していない」の合計を指す）は、「遺贈による寄付」、「資産による寄付」がそれぞれ 6 割超で最も高く、これに、「企業からの寄付」、「介護保険収入、負担金収入」が約 5 割で続いている。

図表Ⅱ－70 資金調達活動の実施状況（SA）

回答		頻繁に実施している	時々実施している	あまり実施していない	ほとんど実施していない	実施していない	不明	合計
個人からの寄付	件数	17	37	8	23	44	43	172
	構成比	9.9%	21.5%	4.7%	13.4%	25.6%	25.0%	100.0%
企業からの寄付	件数	10	22	8	23	65	44	172
	構成比	5.8%	12.8%	4.7%	13.4%	37.8%	25.6%	100.0%
遺贈による寄付	件数	0	5	5	8	102	52	172
	構成比	0.0%	2.9%	2.9%	4.7%	59.3%	30.2%	100.0%
物品による寄付(商品の無償提供、古本など)	件数	10	24	9	18	62	49	172
	構成比	5.8%	14.0%	5.2%	10.5%	36.0%	28.5%	100.0%
資産による寄付(車両、建物、土地など)	件数	1	6	6	14	93	52	172
	構成比	0.6%	3.5%	3.5%	8.1%	54.1%	30.2%	100.0%
自主事業収益	件数	71	27	2	10	26	36	172
	構成比	41.3%	15.7%	1.2%	5.8%	15.1%	20.9%	100.0%
委託事業収益	件数	41	27	1	10	51	42	172
	構成比	23.8%	15.7%	0.6%	5.8%	29.7%	24.4%	100.0%
介護保険収入、負担金収入	件数	24	3	1	6	82	56	172
	構成比	14.0%	1.7%	0.6%	3.5%	47.7%	32.6%	100.0%
補助金・助成金(国・地方自治体)	件数	40	47	13	7	31	34	172
	構成比	23.3%	27.3%	7.6%	4.1%	18.0%	19.8%	100.0%
補助金・助成金(民間団体)	件数	14	42	12	8	56	40	172
	構成比	8.1%	24.4%	7.0%	4.7%	32.6%	23.3%	100.0%
その他	件数	4	4	0	2	22	140	172
	構成比	2.3%	2.3%	0.0%	1.2%	12.8%	81.4%	100.0%



《活動資金の充足状況と調達活動》

資金の調達活動の実施状況について、活動資金の充足状況別に分析した。

活動資金が“足りている”と回答した 56 団体でみると、実施度は「自主事業収益」が約 6 割と最も高く、これに「補助金・助成金（国・地方自治体）」が 5 割超で続く。これに続く、「委託事業収益」は 4 割強が実施しており、「頻繁に実施している」が 32.1%と高い。

未実施度は、「遺贈による寄付」「資産による寄付」が 7 割で最も高く、これに、「企業からの寄付」、「介護保険収入、負担金収入」、「物品による寄付」が約 6 割で続いている。

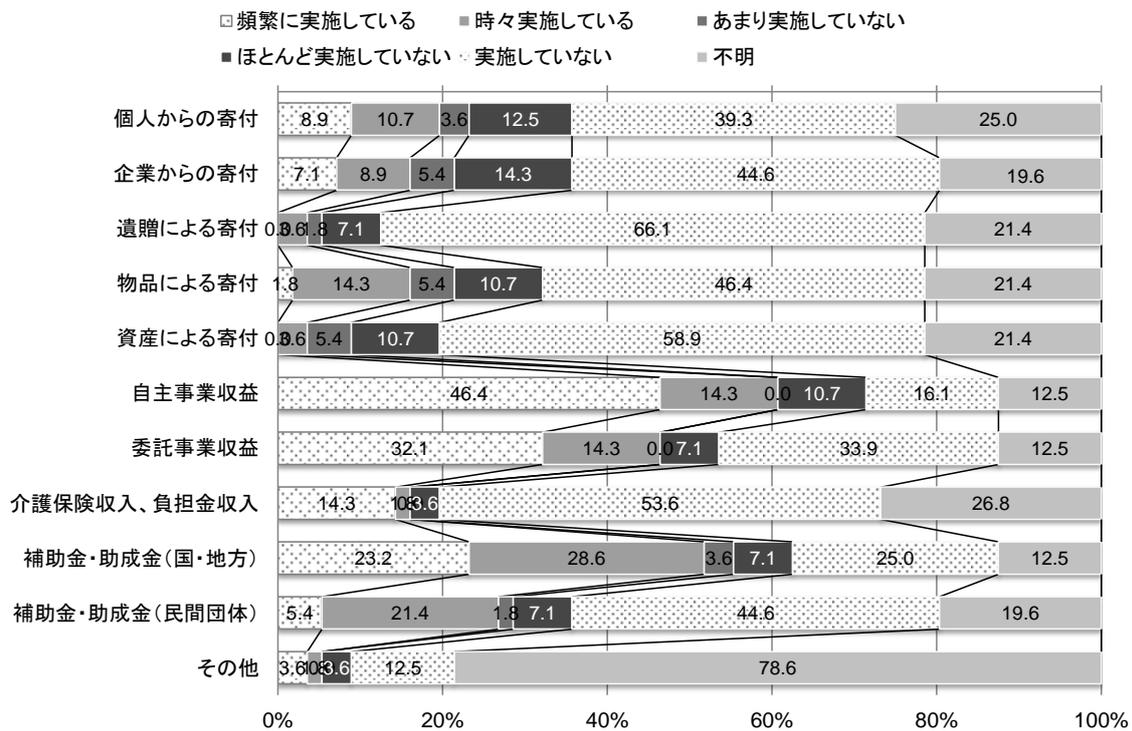
一方、活動資金が“足りていない”と回答した 102 団体でみると、実施度は「自主事業収益」が約 6 割と最も高く、これに「補助金・助成金（国・地方自治体）」が 5 割超、「個人からの寄付」、「委託事業収益」がそれぞれ約 4 割となっている。

未実施度は、「遺贈による寄付」、「資産による寄付」がそれぞれ 6 割超で最も高く、これに、「介護保険収入、負担金収入」、「企業からの寄付」が約 5 割で続いている。

両者の回答の傾向に大きな差異はみられない結果となっている。

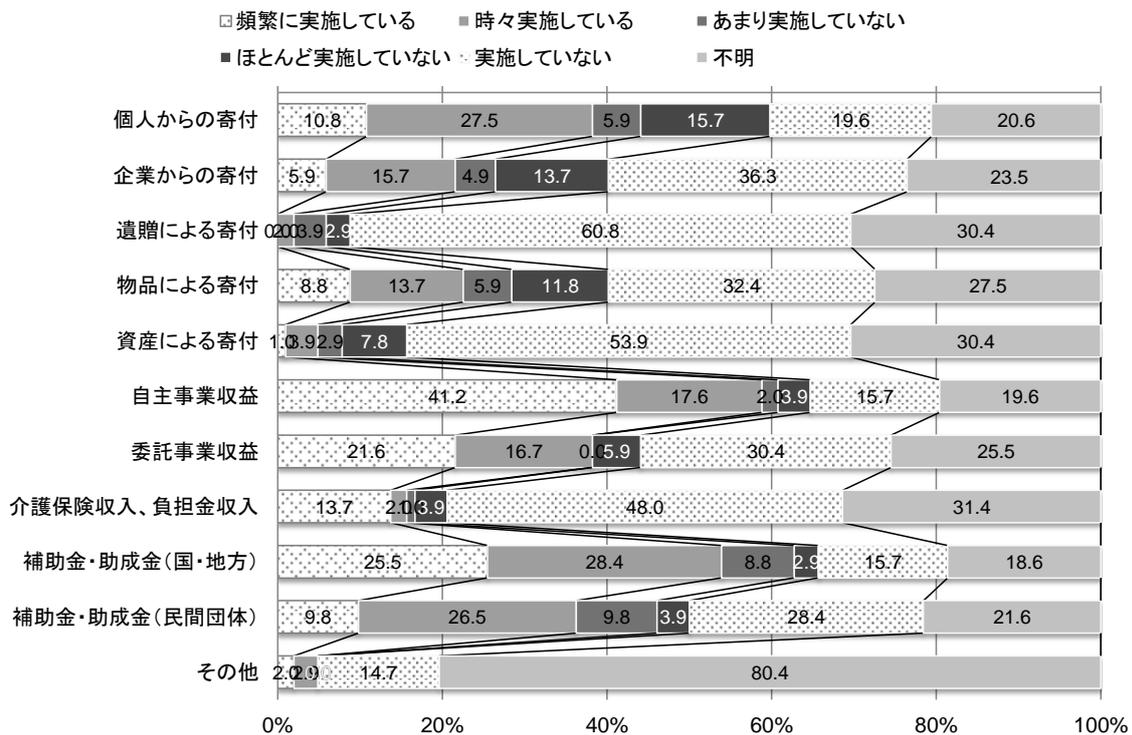
図表Ⅱ-71 資金調達活動の実施状況－資金が足りている団体（SA）

回答		頻繁に実施している	時々実施している	あまり実施していない	ほとんど実施していない	実施していない	不明	合計
個人からの寄付	件数	5	6	2	7	22	14	56
	構成比	8.9%	10.7%	3.6%	12.5%	39.3%	25.0%	100.0%
企業からの寄付	件数	4	5	3	8	25	11	56
	構成比	7.1%	8.9%	5.4%	14.3%	44.6%	19.6%	100.0%
遺贈による寄付	件数	0	2	1	4	37	12	56
	構成比	0.0%	3.6%	1.8%	7.1%	66.1%	21.4%	100.0%
物品による寄付(商品の無償提供、古本など)	件数	1	8	3	6	26	12	56
	構成比	1.8%	14.3%	5.4%	10.7%	46.4%	21.4%	100.0%
資産による寄付(車両、建物、土地など)	件数	0	2	3	6	33	12	56
	構成比	0.0%	3.6%	5.4%	10.7%	58.9%	21.4%	100.0%
自主事業収益	件数	26	8	0	6	9	7	56
	構成比	46.4%	14.3%	0.0%	10.7%	16.1%	12.5%	100.0%
委託事業収益	件数	18	8	0	4	19	7	56
	構成比	32.1%	14.3%	0.0%	7.1%	33.9%	12.5%	100.0%
介護保険収入、負担金収入	件数	8	1	0	2	30	15	56
	構成比	14.3%	1.8%	0.0%	3.6%	53.6%	26.8%	100.0%
補助金・助成金(国・地方自治体)	件数	13	16	2	4	14	7	56
	構成比	23.2%	28.6%	3.6%	7.1%	25.0%	12.5%	100.0%
補助金・助成金(民間団体)	件数	3	12	1	4	25	11	56
	構成比	5.4%	21.4%	1.8%	7.1%	44.6%	19.6%	100.0%
その他	件数	2	1	0	2	7	44	56
	構成比	3.6%	1.8%	0.0%	3.6%	12.5%	78.6%	100.0%



図表Ⅱ－72 資金調達活動の実施状況－資金が足りていない団体（SA）

回答		頻繁に実施している	時々実施している	あまり実施していない	ほとんど実施していない	実施していない	不明	合計
個人からの寄付	件数	11	28	6	16	20	21	102
	構成比	10.8%	27.5%	5.9%	15.7%	19.6%	20.6%	100.0%
企業からの寄付	件数	6	16	5	14	37	24	102
	構成比	5.9%	15.7%	4.9%	13.7%	36.3%	23.5%	100.0%
遺贈による寄付	件数	0	2	4	3	62	31	102
	構成比	0.0%	2.0%	3.9%	2.9%	60.8%	30.4%	100.0%
物品による寄付(商品の無償提供、古本など)	件数	9	14	6	12	33	28	102
	構成比	8.8%	13.7%	5.9%	11.8%	32.4%	27.5%	100.0%
資産による寄付(車両、建物、土地など)	件数	1	4	3	8	55	31	102
	構成比	1.0%	3.9%	2.9%	7.8%	53.9%	30.4%	100.0%
自主事業収益	件数	42	18	2	4	16	20	102
	構成比	41.2%	17.6%	2.0%	3.9%	15.7%	19.6%	100.0%
委託事業収益	件数	22	17	0	6	31	26	102
	構成比	21.6%	16.7%	0.0%	5.9%	30.4%	25.5%	100.0%
介護保険収入、負担金収入	件数	14	2	1	4	49	32	102
	構成比	13.7%	2.0%	1.0%	3.9%	48.0%	31.4%	100.0%
補助金・助成金(国・地方自治体)	件数	26	29	9	3	16	19	102
	構成比	25.5%	28.4%	8.8%	2.9%	15.7%	18.6%	100.0%
補助金・助成金(民間団体)	件数	10	27	10	4	29	22	102
	構成比	9.8%	26.5%	9.8%	3.9%	28.4%	21.6%	100.0%
その他	件数	2	3	0	0	15	82	102
	構成比	2.0%	2.9%	0.0%	0.0%	14.7%	80.4%	100.0%



(5) 資金調達活動の今後の意向

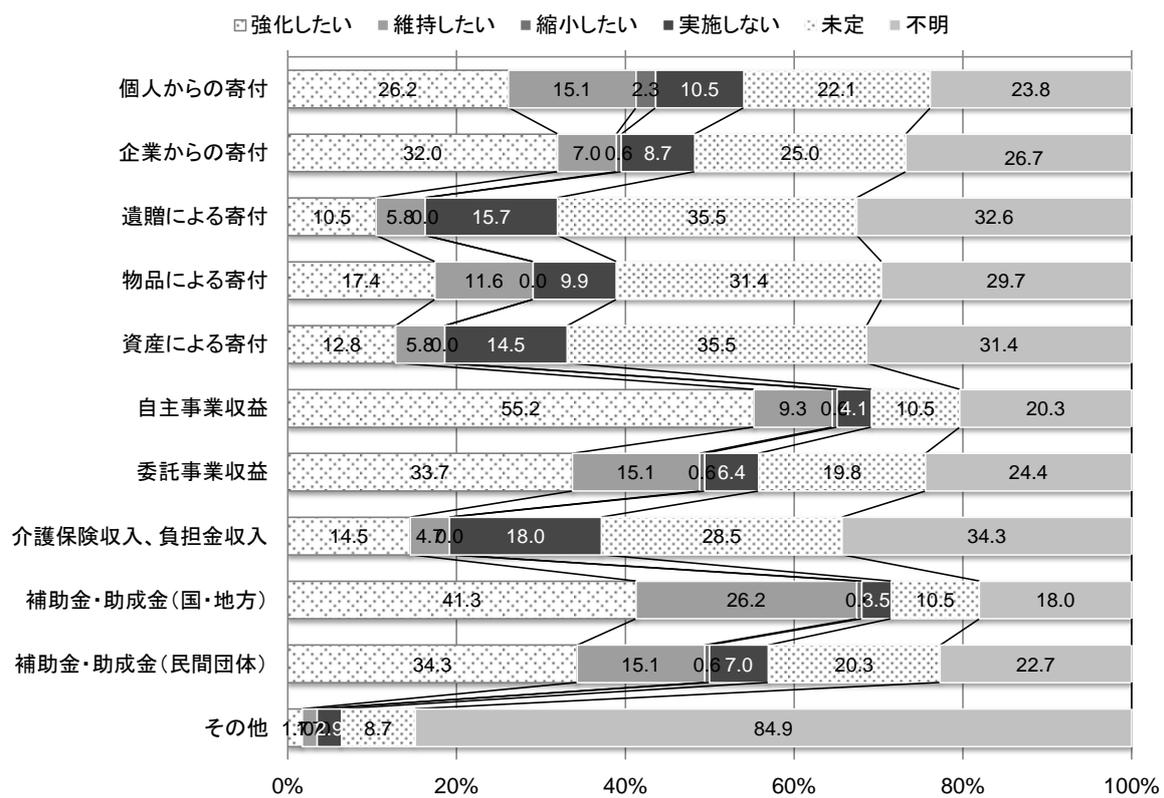
団体の資金調達活動の関する今後の意向について、以下の項目を尋ねたところ、“強化したい”活動は、「自主事業収益」(55.2%)が最も高く、これに「補助金・助成金(国・地方自治体)」(41.3%)、「補助金・助成金(民間団体)」(34.3%)、「委託事業収益」(33.7%)が続いている。

“維持したい”活動は、「補助金・助成金(国・地方自治体)」(26.2%)が最も高い。

総じて、強化・維持したい活動は、事業収益(自主、委託)、補助金・助成金(国・地方、民間)となっている。

図表Ⅱ-73 資金調達活動の今後の意向(SA)

回答		強化したい	維持したい	縮小したい	実施しない	未定	不明	合計
個人からの寄付	件数	45	26	4	18	38	41	172
	構成比	26.2%	15.1%	2.3%	10.5%	22.1%	23.8%	100.0%
企業からの寄付	件数	55	12	1	15	43	46	172
	構成比	32.0%	7.0%	0.6%	8.7%	25.0%	26.7%	100.0%
遺贈による寄付	件数	18	10	0	27	61	56	172
	構成比	10.5%	5.8%	0.0%	15.7%	35.5%	32.6%	100.0%
物品による寄付(商品の無償提供、古本など)	件数	30	20	0	17	54	51	172
	構成比	17.4%	11.6%	0.0%	9.9%	31.4%	29.7%	100.0%
資産による寄付(車両、建物、土地など)	件数	22	10	0	25	61	54	172
	構成比	12.8%	5.8%	0.0%	14.5%	35.5%	31.4%	100.0%
自主事業収益	件数	95	16	1	7	18	35	172
	構成比	55.2%	9.3%	0.6%	4.1%	10.5%	20.3%	100.0%
委託事業収益	件数	58	26	1	11	34	42	172
	構成比	33.7%	15.1%	0.6%	6.4%	19.8%	24.4%	100.0%
介護保険収入、負担金収入	件数	25	8	0	31	49	59	172
	構成比	14.5%	4.7%	0.0%	18.0%	28.5%	34.3%	100.0%
補助金・助成金(国・地方自治体)	件数	71	45	1	6	18	31	172
	構成比	41.3%	26.2%	0.6%	3.5%	10.5%	18.0%	100.0%
補助金・助成金(民間団体)	件数	59	26	1	12	35	39	172
	構成比	34.3%	15.1%	0.6%	7.0%	20.3%	22.7%	100.0%
その他	件数	3	3	0	5	15	146	172
	構成比	1.7%	1.7%	0.0%	2.9%	8.7%	84.9%	100.0%



《活動資金の充足状況》

資金の調達活動の今後の意向について、活動資金の充足状況別に分析した。

活動資金が“足りている”と回答した 56 団体でみると、“強化したい”活動は、「自主事業収益」(53.6%) が最も高く、これに「補助金・助成金(国・地方自治体)」(37.5%)、「委託事業収益」(33.9%)、「補助金・助成金(民間団体)」(32.1%) が続いている。

“維持したい”活動は、「補助金・助成金(国・地方自治体)」(26.8%) が最も高い。

総じて、強化・維持したい活動は、事業収益(自主、委託)、補助金・助成金(国・地方、民間)となっている。

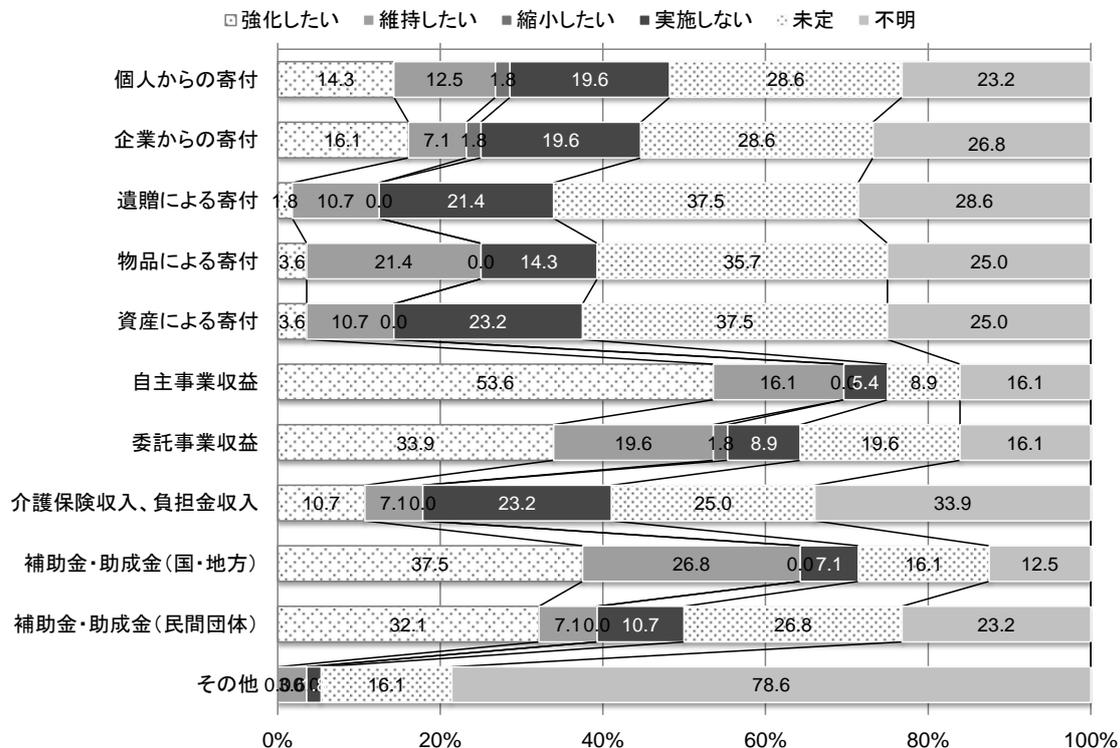
一方、活動資金が“足りていない”と回答した 102 団体でみると、“強化したい”活動は、「自主事業収益」(59.8%) が最も高く、これに「補助金・助成金(国・地方自治体)」(47.1%)、「企業からの寄付」(42.2%)、「補助金・助成金(民間団体)」(38.2%)、「委託事業収益」(36.3%)、「個人からの寄付」(34.3%) が続いている。また、これら以外の項目も全般的に、“足りている”団体に比べて高い割合となっている。

“維持したい”活動は、「補助金・助成金(国・地方自治体)」(26.5%) が最も高い。

総じて、強化・維持したい活動は、事業収益(自主、委託)、補助金・助成金(国・地方、民間)に加え、寄付(企業、個人、物品)など、多岐にわたる活動を通じて資金を確保したい意向がみられる。

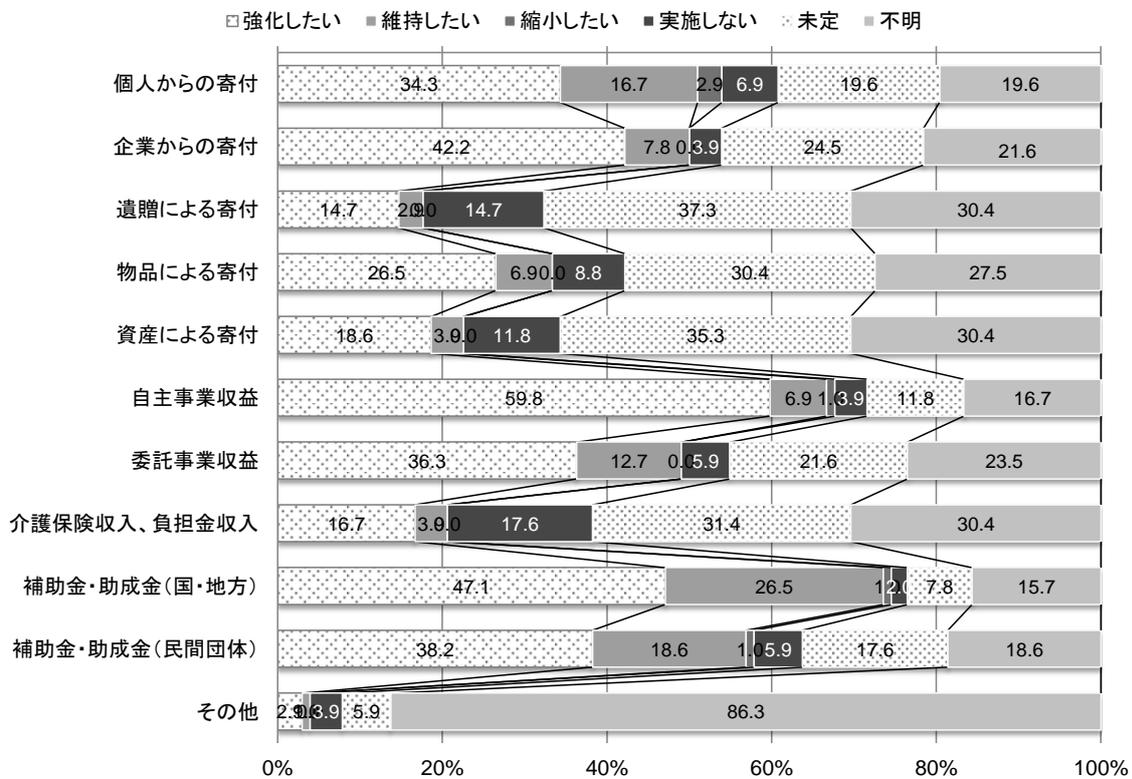
図表Ⅱ-74 資金調達活動の今後の意向－資金が足りている（SA）

回答		強化したい	維持したい	縮小したい	実施しない	未定	不明	合計
個人からの寄付	件数	8	7	1	11	16	13	56
	構成比	14.3%	12.5%	1.8%	19.6%	28.6%	23.2%	100.0%
企業からの寄付	件数	9	4	1	11	16	15	56
	構成比	16.1%	7.1%	1.8%	19.6%	28.6%	26.8%	100.0%
遺贈による寄付	件数	1	6	0	12	21	16	56
	構成比	1.8%	10.7%	0.0%	21.4%	37.5%	28.6%	100.0%
物品による寄付(商品の無償提供、古本など)	件数	2	12	0	8	20	14	56
	構成比	3.6%	21.4%	0.0%	14.3%	35.7%	25.0%	100.0%
資産による寄付(車両、建物、土地など)	件数	2	6	0	13	21	14	56
	構成比	3.6%	10.7%	0.0%	23.2%	37.5%	25.0%	100.0%
自主事業収益	件数	30	9	0	3	5	9	56
	構成比	53.6%	16.1%	0.0%	5.4%	8.9%	16.1%	100.0%
委託事業収益	件数	19	11	1	5	11	9	56
	構成比	33.9%	19.6%	1.8%	8.9%	19.6%	16.1%	100.0%
介護保険収入、負担金収入	件数	6	4	0	13	14	19	56
	構成比	10.7%	7.1%	0.0%	23.2%	25.0%	33.9%	100.0%
補助金・助成金(国・地方自治体)	件数	21	15	0	4	9	7	56
	構成比	37.5%	26.8%	0.0%	7.1%	16.1%	12.5%	100.0%
補助金・助成金(民間団体)	件数	18	4	0	6	15	13	56
	構成比	32.1%	7.1%	0.0%	10.7%	26.8%	23.2%	100.0%
その他	件数	0	2	0	1	9	44	56
	構成比	0.0%	3.6%	0.0%	1.8%	16.1%	78.6%	100.0%



図表Ⅱ-75 資金調達活動の今後の意向－資金が足りていない（SA）

回答		強化したい	維持したい	縮小したい	実施しない	未定	不明	合計
個人からの寄付	件数	35	17	3	7	20	20	102
	構成比	34.3%	16.7%	2.9%	6.9%	19.6%	19.6%	100.0%
企業からの寄付	件数	43	8	0	4	25	22	102
	構成比	42.2%	7.8%	0.0%	3.9%	24.5%	21.6%	100.0%
遺贈による寄付	件数	15	3	0	15	38	31	102
	構成比	14.7%	2.9%	0.0%	14.7%	37.3%	30.4%	100.0%
物品による寄付(商品の無償提供、古本など)	件数	27	7	0	9	31	28	102
	構成比	26.5%	6.9%	0.0%	8.8%	30.4%	27.5%	100.0%
資産による寄付(車両、建物、土地など)	件数	19	4	0	12	36	31	102
	構成比	18.6%	3.9%	0.0%	11.8%	35.3%	30.4%	100.0%
自主事業収益	件数	61	7	1	4	12	17	102
	構成比	59.8%	6.9%	1.0%	3.9%	11.8%	16.7%	100.0%
委託事業収益	件数	37	13	0	6	22	24	102
	構成比	36.3%	12.7%	0.0%	5.9%	21.6%	23.5%	100.0%
介護保険収入、負担金収入	件数	17	4	0	18	32	31	102
	構成比	16.7%	3.9%	0.0%	17.6%	31.4%	30.4%	100.0%
補助金・助成金(国・地方自治体)	件数	48	27	1	2	8	16	102
	構成比	47.1%	26.5%	1.0%	2.0%	7.8%	15.7%	100.0%
補助金・助成金(民間団体)	件数	39	19	1	6	18	19	102
	構成比	38.2%	18.6%	1.0%	5.9%	17.6%	18.6%	100.0%
その他	件数	3	1	0	4	6	88	102
	構成比	2.9%	1.0%	0.0%	3.9%	5.9%	86.3%	100.0%



(6) 寄付の受領の有無

団体の資金調達において、寄付を受けたことがあるかを尋ねたところ、「あり」(54.7%)と、過半数を占めている。

団体種類別にみると、NPO 法人では「あり」が 6 割超を占めており、その他に比べて高い結果となっている。

※この「寄付」には、賛助会費、助成金は含まない。

図表Ⅱ-76 寄付の受領の有無－団体種類 (NA)

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
あり	94	54.7%	73	62.4%	21	38.2%
なし	67	39.0%	40	34.2%	27	49.1%
不明	11	6.4%	4	3.4%	7	12.7%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

図表Ⅱ-77 寄付の受領の有無－所在地 (NA)

回答	全体		所在地					
			松江・出雲		その他の市町村		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
あり	94	54.7%	45	55.6%	49	54.4%	0	0.0%
なし	67	39.0%	30	37.0%	36	40.0%	1	100.0%
不明	11	6.4%	6	7.4%	5	5.6%	0	0.0%
合計	172	100.0%	81	100.0%	90	100.0%	1	100.0%

図表Ⅱ-78 主な活動分野－寄付受領の有無 (MA)

回答	全体		寄付の受領の有無					
			あり		なし		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
子どもを支える	55	32.0%	37	39.4%	17	25.4%	1	9.1%
福祉を支える	80	46.5%	51	54.3%	27	40.3%	2	18.2%
外国人を支える	10	5.8%	7	7.4%	3	4.5%	0	0.0%
保健・医療を支える	31	18.0%	17	18.1%	14	20.9%	0	0.0%
社会教育を支える	39	22.7%	21	22.3%	18	26.9%	0	0.0%
経済を支える	37	21.5%	15	16.0%	18	26.9%	4	36.4%
地域を応援する	100	58.1%	47	50.0%	45	67.2%	8	72.7%
働く人を応援する	19	11.0%	13	13.8%	6	9.0%	0	0.0%
文化・芸術・スポーツを支える	49	28.5%	29	30.9%	19	28.4%	1	9.1%
自然環境を守る	48	27.9%	26	27.7%	17	25.4%	5	45.5%
被災者を支える	4	2.3%	2	2.1%	2	3.0%	0	0.0%
その他	19	11.0%	12	12.8%	6	9.0%	1	9.1%
不明	2	1.2%	1	1.1%	1	1.5%	0	0.0%
全体	172	100.0%	94	100.0%	67	100.0%	11	100.0%

(7) 寄付の受領金額

寄付を受領したことがある団体に、過去1年間の「寄付」の受領金額の内訳を寄付者種別ごとに尋ねたところ、以下の結果となった。

《寄付の総額》

寄付の総額を尋ねたところ、83団体が総額を記入しており、総計は53,373,906円、数値を記入した83団体の1団体あたりの平均は、643,059.1円となった。

カテゴリー別では、「300,000円以上」が最も多く、30.9%を占めている。

図表Ⅱ-79 寄付の総額—団体種類 (NA)

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0円	6	6.4%	4	5.5%	2	9.5%
10,000円未満	1	1.1%	1	1.4%	0	0.0%
10,000円以上30,000円未満	8	8.5%	6	8.2%	2	9.5%
30,000円以上50,000円未満	8	8.5%	5	6.8%	3	14.3%
50,000円以上100,000円未満	11	11.7%	10	13.7%	1	4.8%
100,000円以上300,000円未満	20	21.3%	16	21.9%	4	19.0%
300,000円以上	29	30.9%	21	28.8%	8	38.1%
不明	11	11.7%	10	13.7%	1	4.8%
寄付受領あり合計	94	100.0%	73	100.0%	21	100.0%

図表Ⅱ-80 寄付の総額—所在地 (NA)

回答	全体		所在地			
			松江・出雲		その他の市町村	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0円	6	6.4%	3	6.7%	3	6.1%
10,000円未満	1	1.1%	0	0.0%	1	2.0%
10,000円以上30,000円未満	8	8.5%	2	4.4%	6	12.2%
30,000円以上50,000円未満	8	8.5%	4	8.9%	4	8.2%
50,000円以上100,000円未満	11	11.7%	7	15.6%	4	8.2%
100,000円以上300,000円未満	20	21.3%	8	17.8%	12	24.5%
300,000円以上	29	30.9%	15	33.3%	14	28.6%
不明	11	11.7%	6	13.3%	5	10.2%
寄付受領あり合計	94	100.0%	45	100.0%	49	100.0%

《組織外部の個人（一般の方からの寄付）》

寄付のうち、組織外部の個人（一般）の金額を尋ねたところ、82 団体が総額を記入しており、総計は 8,891,297 円、数値を記入した 83 団体の 1 団体あたりの平均は、108,430.4 円となった。

カテゴリー別にみると、「50,000 円以上 100,000 円未満」、「100,000 円以上 300,000 円未満」「300,000 円以上」が同率となっており、金額のバラつきが大きい。

図表Ⅱ－81 組織外部の個人（一般の方）からの寄付（NA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0円	46	48.9%	31	42.5%	14	66.7%
10,000円未満	4	4.3%	5	6.8%	0	0.0%
10,000円以上30,000円未満	5	5.3%	3	4.1%	2	9.5%
30,000円以上50,000円未満	3	3.2%	3	4.1%	0	0.0%
50,000円以上100,000円未満	8	8.5%	8	11.0%	0	0.0%
100,000円以上300,000円未満	8	8.5%	6	8.2%	2	9.5%
300,000円以上	8	8.5%	4	5.5%	3	14.3%
不明	12	12.8%	13	17.8%	0	0.0%
寄付受領あり合計	94	100.0%	73	100.0%	21	100.0%

《組織内部の個人（会員・役員・職員）》

寄付のうち、組織内部の個人（会員・役員・職員）の金額を尋ねたところ、84 団体が総額を記入しており、総計は 28,097,536 円、数値を記入した 84 団体の 1 団体あたりの平均は、334,494.4 円となった。

カテゴリー別にみると、「100,000 円以上 300,000 円未満」が最も多く、これに「300,000 円以上」が続いている。

図表Ⅱ－82 組織内部の個人（会員・役員・職員）からの寄付（NA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0円	37	39.4%	26	35.6%	11	52.4%
10,000円未満	1	1.1%	0	0.0%	1	4.8%
10,000円以上30,000円未満	5	5.3%	4	5.5%	1	4.8%
30,000円以上50,000円未満	5	5.3%	3	4.1%	2	9.5%
50,000円以上100,000円未満	7	7.4%	5	6.8%	2	9.5%
100,000円以上300,000円未満	17	18.1%	14	19.2%	3	14.3%
300,000円以上	12	12.8%	11	15.1%	1	4.8%
不明	10	10.6%	10	13.7%	0	0.0%
寄付受領あり合計	94	100.0%	73	100.0%	21	100.0%

《企業等の団体》

寄付のうち、企業などの団体の金額を尋ねたところ、82 団体が総額を記入しており、総計は 14,017,273 円、数値を記入した 82 団体の 1 団体あたりの平均は、170,942.3 円となった。

カテゴリー別にみると、「50,000 円以上 100,000 円未満」が最も多く、これに「300,000 円以上」が続いている。

図表Ⅱ－83 企業などの団体からの寄付（NA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0円	53	56.4%	41	56.2%	12	57.1%
10,000円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
10,000円以上30,000円未満	4	4.3%	3	4.1%	1	4.8%
30,000円以上50,000円未満	3	3.2%	2	2.7%	1	4.8%
50,000円以上100,000円未満	9	9.6%	9	12.3%	0	0.0%
100,000円以上300,000円未満	5	5.3%	4	5.5%	1	4.8%
300,000円以上	8	8.5%	3	4.1%	5	23.8%
不明	12	12.8%	11	15.1%	1	4.8%
寄付受領あり合計	94	100.0%	73	100.0%	21	100.0%

《その他》

寄付のうち、その他の金額を尋ねたところ、82 団体が総額を記入しており、総計は 1,961,800 円、数値を記入した 82 団体の 1 団体あたりの平均は、23,924.3 円となった。

図表Ⅱ－84 その他の寄付（NA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0円	75	79.8%	55	75.3%	20	95.2%
10,000円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
10,000円以上30,000円未満	1	1.1%	1	1.4%	0	0.0%
30,000円以上50,000円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
50,000円以上100,000円未満	2	2.1%	2	2.7%	0	0.0%
100,000円以上300,000円未満	3	3.2%	3	4.1%	0	0.0%
300,000円以上	1	1.1%	1	1.4%	0	0.0%
不明	12	12.8%	11	15.1%	1	4.8%
寄付受領あり合計	94	100.0%	73	100.0%	21	100.0%

(8) 寄付金調達活動の実施状況

寄付金調達活動の実施状況について尋ねたところ、以下の結果となった。(この質問は、寄付を受入れたことが「ある」と回答した 94 先に尋ねた)

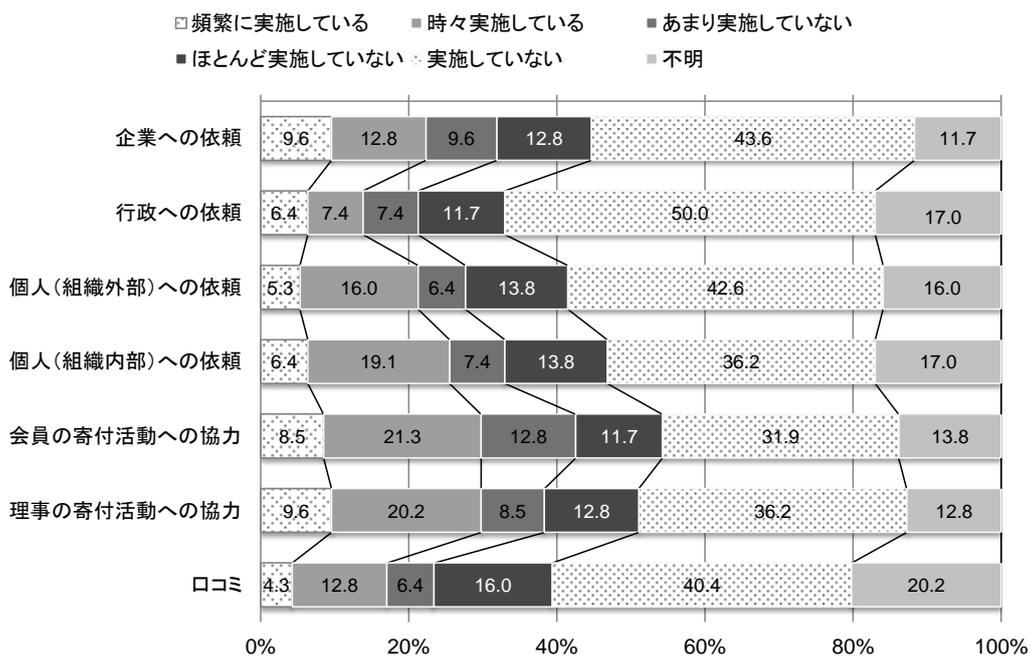
<依頼・協力>に関する調達活動のうち、実施度(「頻繁に実施している」「時々実施している」の合計を指す)の高いものは、「会員への寄付活動への協力」、「理事への寄付活動への協力」、「組織内部への協力」がそれぞれ3割近い結果となっている。

未実施度(「実施していない」「ほとんど実施していない」の合計を指す)の高いものは、「行政への依頼」が最も高く、これに「企業への依頼」、「個人(組織外部)への依頼」、「口コミ」が同率で続いている。

<依頼・協力>

図表Ⅱ-85 寄付金調達活動<依頼・協力>(SA)

調達活動		頻繁に実施している	時々実施している	あまり実施していない	ほとんど実施していない	実施していない	不明	寄付受入実績のある団体	
依頼・協力	企業への依頼	件数	9	12	9	12	41	11	94
		構成比	9.6%	12.8%	9.6%	12.8%	43.6%	11.7%	100.0%
	行政への依頼	件数	6	7	7	11	47	16	94
		構成比	6.4%	7.4%	7.4%	11.7%	50.0%	17.0%	100.0%
	個人(組織外部)への依頼	件数	5	15	6	13	40	15	94
		構成比	5.3%	16.0%	6.4%	13.8%	42.6%	16.0%	100.0%
	個人(組織内部)への依頼	件数	6	18	7	13	34	16	94
		構成比	6.4%	19.1%	7.4%	13.8%	36.2%	17.0%	100.0%
	会員の寄付活動への協力	件数	8	20	12	11	30	13	94
		構成比	8.5%	21.3%	12.8%	11.7%	31.9%	13.8%	100.0%
理事の寄付活動への協力	件数	9	19	8	12	34	12	94	
	構成比	9.6%	20.2%	8.5%	12.8%	36.2%	12.8%	100.0%	
口コミ	件数	4	12	6	15	38	19	94	
	構成比	4.3%	12.8%	6.4%	16.0%	40.4%	20.2%	100.0%	



＜ツール・手法＞に関する調達活動のうち、実施度（「頻繁に実施している」「時々実施している」の合計を指す）の高いものは、「寄付チラシ」、「募金箱の設置」、「ホームページ」、「振込用紙」がそれぞれ2割近い結果を示している。

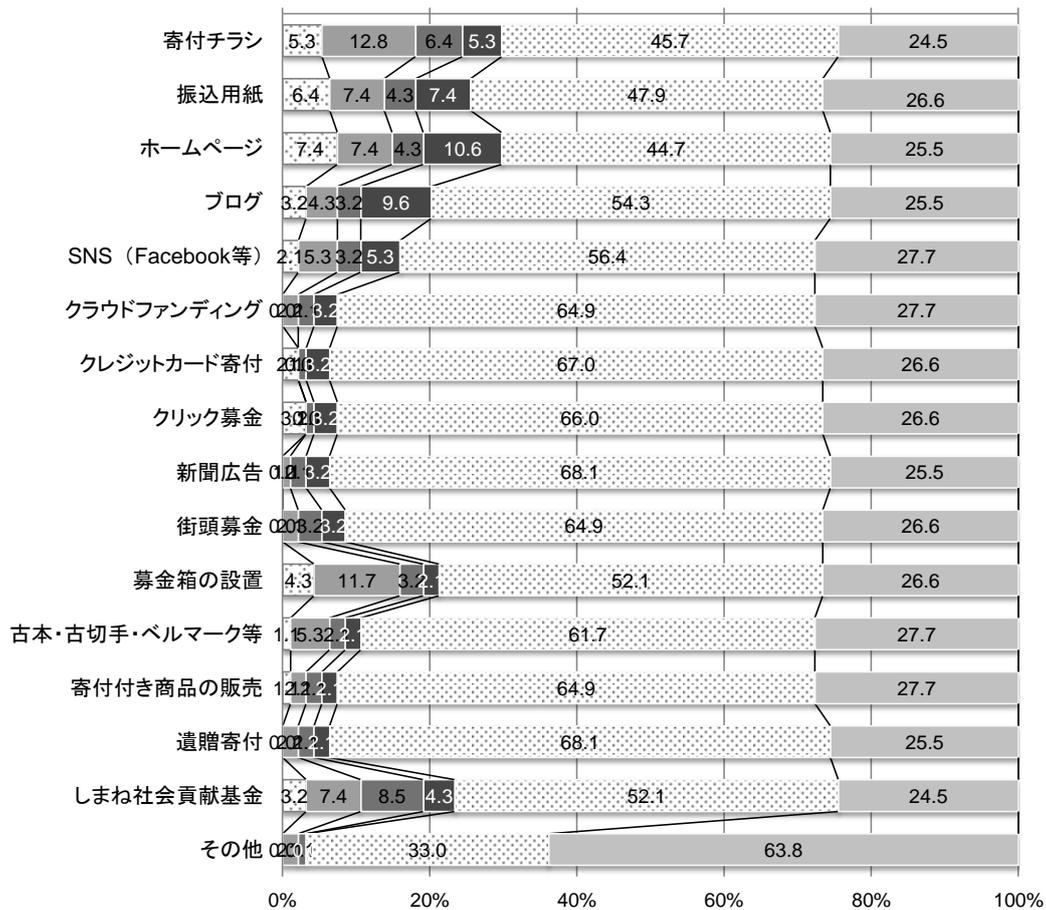
未実施度（「実施していない」「ほとんど実施していない」の合計を指す）の高いものは、「新聞広告」が最も高く、これに「クレジットカード寄付」、「遺贈寄付」、「クリック募金」が概ね同率で続いている。

＜ツール・手法＞

図表Ⅱ－86 寄付金調達活動 ＜ツール・手法＞（SA）

調達活動		頻繁に実施している	時々実施している	あまり実施していない	ほとんど実施していない	実施していない	不明	寄付受入実績のある団体	
ツール・手法	寄付チラシ	件数	5	12	6	5	43	23	94
		構成比	5.3%	12.8%	6.4%	5.3%	45.7%	24.5%	100.0%
	振込用紙	件数	6	7	4	7	45	25	94
		構成比	6.4%	7.4%	4.3%	7.4%	47.9%	26.6%	100.0%
	ホームページ	件数	7	7	4	10	42	24	94
		構成比	7.4%	7.4%	4.3%	10.6%	44.7%	25.5%	100.0%
	ブログ	件数	3	4	3	9	51	24	94
		構成比	3.2%	4.3%	3.2%	9.6%	54.3%	25.5%	100.0%
	SNS(Facebook等)	件数	2	5	3	5	53	26	94
		構成比	2.1%	5.3%	3.2%	5.3%	56.4%	27.7%	100.0%
	クラウドファンディング	件数	0	2	2	3	61	26	94
		構成比	0.0%	2.1%	2.1%	3.2%	64.9%	27.7%	100.0%
	クレジットカード寄付	件数	2	0	1	3	63	25	94
		構成比	2.1%	0.0%	1.1%	3.2%	67.0%	26.6%	100.0%
	クリック募金	件数	3	0	1	3	62	25	94
		構成比	3.2%	0.0%	1.1%	3.2%	66.0%	26.6%	100.0%
	新聞広告	件数	0	1	2	3	64	24	94
		構成比	0.0%	1.1%	2.1%	3.2%	68.1%	25.5%	100.0%
	街頭募金	件数	0	2	3	3	61	25	94
		構成比	0.0%	2.1%	3.2%	3.2%	64.9%	26.6%	100.0%
募金箱の設置	件数	4	11	3	2	49	25	94	
	構成比	4.3%	11.7%	3.2%	2.1%	52.1%	26.6%	100.0%	
古本・古切手・ベルマーク等	件数	1	5	2	2	58	26	94	
	構成比	1.1%	5.3%	2.1%	2.1%	61.7%	27.7%	100.0%	
寄付付き商品の販売	件数	1	2	2	2	61	26	94	
	構成比	1.1%	2.1%	2.1%	2.1%	64.9%	27.7%	100.0%	
遺贈寄付	件数	0	2	2	2	64	24	94	
	構成比	0.0%	2.1%	2.1%	2.1%	68.1%	25.5%	100.0%	
しまね社会貢献基金	件数	3	7	8	4	49	23	94	
	構成比	3.2%	7.4%	8.5%	4.3%	52.1%	24.5%	100.0%	
その他	件数	0	2	1	0	31	60	94	
	構成比	0.0%	2.1%	1.1%	0.0%	33.0%	63.8%	100.0%	

□ 頻繁に実施している ■ 時々実施している ■ あまり実施していない
 ■ ほとんど実施していない ○ 実施していない ■ 不明



(9) 寄付金額の動向

1年前と比較した寄付金額の動向について尋ねたところ、「変わらない」が6割を占めて最も高い。これに「増えている」と「減っている」がほぼ同率で続いている。

(この質問は、寄付を受入れたことが「ある」と回答した94先に尋ねた)

図表Ⅱ-87 寄付金額の動向—団体種類 (SA)

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
とても増えている	2	2.1%	1	1.4%	1	4.8%
増えている	15	16.0%	12	16.4%	3	14.3%
変わらない	59	62.8%	43	58.9%	16	76.2%
減っている	14	14.9%	14	19.2%	0	0.0%
不明	4	4.3%	3	4.1%	1	4.8%
寄付受領あり合計	94	100.0%	73	100.0%	21	100.0%

図表Ⅱ-88 寄付金額の動向—所在地 (SA)

回答	全体		所在地			
			松江・出雲		その他の市町村	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
とても増えている	2	2.1%	1	2.2%	1	2.0%
増えている	15	16.0%	8	17.8%	7	14.3%
変わらない	59	62.8%	29	64.4%	30	61.2%
減っている	14	14.9%	6	13.3%	8	16.3%
不明	4	4.3%	1	2.2%	3	6.1%
寄付受領あり合計	94	100.0%	45	100.0%	49	100.0%

(10) 寄付金調達活動の今後の意向

寄付金調達活動の今後の意向について尋ねたところ、増加希望（「積極的に増やしたい」、「できれば増やしたい」の合計を指す）は、全体の半数（50.0%）を占めている。これに次いで、「現状維持で良い」が続いている。

一方で、減少希望（「あまり増やしたくない」、「減らしたい」の合計を指す）は、全体の6.4%と低い結果となっている。

寄付受領の有無別にみると、受領ありの団体では増加希望が6割超を占め、受領なしの団体でも4割近くが増加希望と回答しており、寄付調達活動に前向きな姿勢がみられる。

また、受領ありの団体について、受入者の動向別にみると、「（とても）増えている」団体では大半が増加希望を選択し、「変わらない」あるいは「減っている」団体でも6割前後が増加希望と回答するなど、金額の増減を問わず調達活動に意欲的な姿勢がうかがえる。

図表Ⅱ－89 寄付金調達活動の今後の意向－団体種類（SA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
積極的に増やしたい	30	17.4%	25	21.4%	5	9.1%
できれば増やしたい	56	32.6%	40	34.2%	16	29.1%
現状維持でよい	34	19.8%	23	19.7%	11	20.0%
あまり増やしたくない	10	5.8%	5	4.3%	5	9.1%
減らしたい	1	0.6%	1	0.9%	0	0.0%
分からない	24	14.0%	18	15.4%	6	10.9%
不明	17	9.9%	5	4.3%	12	21.8%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

図表Ⅱ－90 寄付金調達活動の今後の意向－寄付受領の有無（SA）

回答	寄付受領の有無					
	受領あり		受領なし		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
積極的に増やしたい	21	22.3%	8	11.9%	1	9.1%
できれば増やしたい	38	40.4%	18	26.9%	0	0.0%
現状維持でよい	18	19.1%	16	23.9%	0	0.0%
あまり増やしたくない	7	7.4%	2	3.0%	1	9.1%
減らしたい	0	0.0%	1	1.5%	0	0.0%
分からない	6	6.4%	17	25.4%	1	9.1%
不明	4	4.3%	5	7.5%	8	72.7%
合計	94	100.0%	67	100.0%	11	100.0%

図表Ⅱ－91 寄付金調達活動の今後の意向－寄付金額の動向（SA）

回答	寄付金額の動向（1年前からの変化）									
	とても増えている		増えている		変わらない		減っている		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
積極的に増やしたい	1	50.0%	5	33.3%	10	16.9%	4	28.6%	1	25.0%
できれば増やしたい	1	50.0%	9	60.0%	23	39.0%	5	35.7%	0	0.0%
現状維持でよい	0	0.0%	1	6.7%	15	25.4%	2	14.3%	0	0.0%
あまり増やしたくない	0	0.0%	0	0.0%	5	8.5%	1	7.1%	1	25.0%
減らしたい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
分からない	0	0.0%	0	0.0%	4	6.8%	2	14.3%	0	0.0%
不明	0	0.0%	0	0.0%	2	3.4%	0	0.0%	2	50.0%
合計	2	100.0%	15	100.0%	59	100.0%	14	100.0%	4	100.0%

5. 企業との連携、経営資源の調達活動

(1) 企業との連携

《連携への意向》

地域課題の解決を行う上で、企業との連携についての考えを尋ねたところ、積極派（「とても連携したい」「連携したい」の合計を指す）は、全体の51.7%を占めている。これに次いで、「分からない」（24.4%）が続いている。

一方で、消極派（「あまり連携しようと思わない」「連携しない」の合計を指す）は、全体の16.9%を占めている。

図表Ⅱ-92 企業との連携－団体種類（SA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
とても連携したい	32	18.6%	25	21.4%	7	12.7%
連携したい	57	33.1%	42	35.9%	15	27.3%
あまり連携しようと思わない	18	10.5%	10	8.5%	8	14.5%
連携しない	11	6.4%	8	6.8%	3	5.5%
分からない	42	24.4%	29	24.8%	13	23.6%
不明	12	7.0%	3	2.6%	9	16.4%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

図表Ⅱ-93 企業との連携－所在地（SA）

回答	全体		所在地					
			松江・出雲		その他の市町村		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
とても連携したい	32	18.6%	18	22.2%	14	15.6%	0	0.0%
連携したい	57	33.1%	26	32.1%	30	33.3%	1	100.0%
あまり連携しようと思わない	18	10.5%	8	9.9%	10	11.1%	0	0.0%
連携しない	11	6.4%	6	7.4%	5	5.6%	0	0.0%
分からない	42	24.4%	19	23.5%	23	25.6%	0	0.0%
不明	12	7.0%	4	4.9%	8	8.9%	0	0.0%
合計	172	100.0%	81	100.0%	90	100.0%	1	100.0%

図表Ⅱ-94 主な活動分野－企業との連携（MA）

回答	全体		企業との連携											
			とても連携したい		連携したい		あまり思わない		連携しない		分からない		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比		
子どもを支える	55	32.0%	15	46.9%	17	29.8%	7	38.9%	1	9.1%	12	28.6%	3	25.0%
福祉を支える	80	46.5%	16	50.0%	27	47.4%	9	50.0%	3	27.3%	23	54.8%	2	16.7%
外国人を支える	10	5.8%	3	9.4%	3	5.3%	1	5.6%	0	0.0%	3	7.1%	0	0.0%
保健・医療を支える	31	18.0%	5	15.6%	9	15.8%	3	16.7%	1	9.1%	12	28.6%	1	8.3%
社会教育を支える	39	22.7%	10	31.3%	13	22.8%	2	11.1%	1	9.1%	11	26.2%	2	16.7%
経済を支える	37	21.5%	8	25.0%	12	21.1%	4	22.2%	2	18.2%	6	14.3%	5	41.7%
地域を応援する	100	58.1%	24	75.0%	32	56.1%	11	61.1%	6	54.5%	19	45.2%	8	66.7%
働く人を応援する	19	11.0%	5	15.6%	6	10.5%	1	5.6%	2	18.2%	5	11.9%	0	0.0%
文化・芸術・スポーツを支える	49	28.5%	12	37.5%	19	33.3%	4	22.2%	3	27.3%	9	21.4%	2	16.7%
自然環境を守る	48	27.9%	5	15.6%	20	35.1%	6	33.3%	1	9.1%	10	23.8%	6	50.0%
被災者を支える	4	2.3%	0	0.0%	1	1.8%	1	5.6%	0	0.0%	2	4.8%	0	0.0%
その他	19	11.0%	3	9.4%	6	10.5%	0	0.0%	1	9.1%	8	19.0%	1	8.3%
不明	2	1.2%	0	0.0%	1	1.8%	1	5.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
全体	172	100.0%	32	100.0%	57	100.0%	18	100.0%	11	100.0%	42	100.0%	12	100.0%

《必要な支援内容》

企業と連携する場合に必要な支援内容、また、支援を希望する量（参加人数、提供物品、資金の金額）を複数回答で尋ねたところ、以下の結果となった。（この質問は企業との連携で「とても連携したい」「連携したい」と回答した 89 先に尋ねた）

必要な支援内容のうち、「資金の支援」（51.7%）が最も高く、これについて「人的な支援」（46.1%）、「物品の支援」（38.2%）となった。

所在地別でみると、松江・出雲では「資金の支援」（59.1%）が最多であるが、その他の市町村では、「人的な支援」と「資金の支援」がほぼ同率となっている。

団体種類別にみると、NPO 法人では「資金の支援」（56.7%）が、その他では「人的な支援」（54.5%）がそれぞれ過半数を占めて最多となっている。

図表Ⅱ－95 必要とする支援内容－団体種類（MA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
人的な支援	41	46.1%	29	43.3%	12	54.5%
物品の提供	34	38.2%	26	38.8%	8	36.4%
資金の支援	46	51.7%	38	56.7%	8	36.4%
不明	11	12.4%	8	11.9%	3	13.6%
連携希望ありの団体	89	100.0%	67	100.0%	22	100.0%

* 複数回答の構成比は、（回答の件数）÷（回答した NPO・団体の数）である

図表Ⅱ－96 必要とする支援内容－所在地（MA）

回答	全体		所在地					
			松江・出雲		その他の市町村		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
人的な支援	41	46.1%	19	43.2%	21	47.7%	1	100.0%
物品の提供	34	38.2%	17	38.6%	17	38.6%	0	0.0%
資金の支援	46	51.7%	26	59.1%	20	45.5%	0	0.0%
不明	11	12.4%	5	11.4%	6	13.6%	0	0.0%
連携希望ありの団体	89	100.0%	44	100.0%	44	100.0%	1	100.0%

《支援を希望する量／人的支援の延べ人数》

必要な支援内容のうち、人的支援の量（延べ人数）を尋ねたところ、35 団体が人数を記入しており、総計は 1,289 人、数値を記入した 35 団体の 1 団体あたりの平均は、36.8 人となった。

カテゴリー別にみると、「10 人未満」（15.7%）が最も多く、これに「10 人以上 30 人未満」が続いている。

図表Ⅱ－97 必要とする人的な支援（延べ人数）－団体種類（SA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
	件数	構成比	NPO法人		その他	
			件数	構成比	件数	構成比
10人未満	14	15.7%	10	14.9%	4	18.2%
10人以上30人未満	10	11.2%	6	9.0%	4	18.2%
30人以上50人未満	6	6.7%	5	7.5%	1	4.5%
50人以上100人未満	2	2.2%	2	3.0%	0	0.0%
100人以上	3	3.4%	3	4.5%	0	0.0%
不明	54	60.7%	41	61.2%	13	59.1%
連携希望ありの団体	89	100.0%	67	100.0%	22	100.0%

図表Ⅱ－98 必要とする人的な支援（延べ人数）－所在地（SA）

回答	全体		所在地					
	件数	構成比	松江・出雲		その他の市町村		不明	
			件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
10人未満	14	15.7%	5	11.4%	8	18.2%	1	100.0%
10人以上30人未満	10	11.2%	5	11.4%	5	11.4%	0	0.0%
30人以上50人未満	6	6.7%	3	6.8%	3	6.8%	0	0.0%
50人以上100人未満	2	2.2%	1	2.3%	1	2.3%	0	0.0%
100人以上	3	3.4%	2	4.5%	1	2.3%	0	0.0%
不明	54	60.7%	28	63.6%	26	59.1%	0	0.0%
連携希望ありの団体	89	100.0%	44	100.0%	44	100.0%	1	100.0%

《支援を希望する量／物品提供》

必要な支援内容のうち、物品提供の具体的な内容を尋ねたところ、以下の回答を得た。

	記述内容
1	防災資機材
2	運搬車輛、機材 土壌改良材
3	障がい者への作業の提供
4	参加賞や景品として配布する地元の特産品
5	観客送迎用の車両（備用）
6	車（福祉車両）
7	パソコン、テレビ、スチームオーブン、車
8	消耗品、大型バス
9	商品の購入
10	ライセンサーになってもらいたい
11	会員である市内NPO法人が必要とする物品
12	連携内容による
13	パソコン・エアコン・映像機
14	日用雑貨品
15	パソコン、キャビネット 事務用品
16	スポーツ用具
17	施設設備品、健康増進・介護予防事業機器等
18	建物（事務所、倉庫）
19	業務委託やコラボレーション
20	大会・イベント参加者への記念品等
21	電動ベッド
22	パソコン、等関連器材
23	商品開発全般
24	広報、宣伝に要するノベルティーグッズ
25	事務用品
26	子育て支援について、企業でも可能なことを一緒に考えたい
27	事業実施をする上で効率的なシステム
28	内職仕事に向く物品（継続してできる物品）
29	クリーニングの請負 その他 請負事業（内職）
30	車、除雪機
31	食材、会場設営
32	鯉のぼり
33	自主防災（避難場所）
34	車両
35	軽ワゴン車 1台（老朽化しているため）

《支援を希望する量／資金支援の金額》

必要な支援内容のうち、資金支援の量（金額）を尋ねたところ、42 団体が人数を記入しており、総計は 385,450,000 円、数値を記入した 42 団体の 1 団体あたりの平均は、9,177,380.9 円となった。

カテゴリー別にみると、「1,000 千円以上 5,000 千円未満」（20.2%）が最も多く、これに「100 千円以上 500 千円未満」が続いている。

図表Ⅱ－99 必要とする資金の支援（金額）－団体種類（NA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
100千円未満	1	1.1%	1	1.5%	0	0.0%
100千円以上500千円未満	10	11.2%	8	11.9%	2	9.1%
500千円以上1,000千円未満	5	5.6%	5	7.5%	0	0.0%
1,000千円以上3,000千円未満	18	20.2%	14	20.9%	4	18.2%
3,000千円以上5,000千円未満	1	1.1%	0	0.0%	1	4.5%
5,000千円以上	7	7.9%	5	7.5%	2	9.1%
不明	47	52.8%	34	50.7%	13	59.1%
連携希望ありの団体	89	100.0%	67	100.0%	22	100.0%

図表Ⅱ－100 必要とする資金の支援（金額）－所在地（NA）

回答	全体		所在地					
			松江・出雲		その他の市町村		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
100千円未満	1	1.1%	0	0.0%	1	2.3%	0	0.0%
100千円以上500千円未満	10	11.2%	4	9.1%	6	13.6%	0	0.0%
500千円以上1,000千円未満	5	5.6%	2	4.5%	3	6.8%	0	0.0%
1,000千円以上3,000千円未満	18	20.2%	13	29.5%	5	11.4%	0	0.0%
3,000千円以上5,000千円未満	1	1.1%	0	0.0%	1	2.3%	0	0.0%
5,000千円以上	7	7.9%	3	6.8%	4	9.1%	0	0.0%
不明	47	52.8%	22	50.0%	24	54.5%	1	100.0%
連携希望ありの団体	89	100.0%	44	100.0%	44	100.0%	1	100.0%

《連携進展に必要な取組》

企業との連携が進むために必要な取組（複数回答）を尋ねたところ、「企業への情報提供」（44.8%）が最も多く、ついで「団体と企業との交流会」（39.0%）、「ノウハウの提供や研修機会の提供」（33.1%）の順となっている。

企業連携の意向でみると、連携を希望する団体（とても連携したい、連携したい）では、情報提供、交流会、ノウハウ・研修機会の提供という、上記の回答と同様な傾向がみられる。

また、連携意向が“分からない”団体においても、交流会をはじめ、情報提供、ノウハウ・研修機会の提供、資金的な援助に対して回答があることから、このような取組に期待がうかがえる。

図表Ⅱ－101 連携進展に必要な取組－団体種類（MA）

回答	全体		NPO・地域づくり団体			
			NPO法人		その他	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
企業への情報提供	77	44.8%	61	52.1%	16	29.1%
団体と企業との交流会	67	39.0%	49	41.9%	18	32.7%
補助金や助成金等の資金的な援助	47	27.3%	37	31.6%	10	18.2%
連携事業に対する税制優遇	25	14.5%	20	17.1%	5	9.1%
ノウハウの提供や研修機会の提供	57	33.1%	49	41.9%	8	14.5%
特に支援は必要ない	11	6.4%	7	6.0%	4	7.3%
その他	7	4.1%	7	6.0%	0	0.0%
不明	34	19.8%	13	11.1%	21	38.2%
合計	172	100.0%	117	100.0%	55	100.0%

図表Ⅱ－102 連携進展に必要な取組－所在地（MA）

回答	全体		所在地					
			松江・出雲		その他の市町村		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
企業への情報提供	77	44.8%	39	48.1%	37	41.1%	1	100.0%
団体と企業との交流会	67	39.0%	32	39.5%	35	38.9%	0	0.0%
補助金や助成金等の資金的な援助	47	27.3%	16	19.8%	30	33.3%	1	100.0%
連携事業に対する税制優遇	25	14.5%	10	12.3%	15	16.7%	0	0.0%
ノウハウの提供や研修機会の提供	57	33.1%	34	42.0%	23	25.6%	0	0.0%
特に支援は必要ない	11	6.4%	6	7.4%	5	5.6%	0	0.0%
その他	7	4.1%	2	2.5%	5	5.6%	0	0.0%
不明	34	19.8%	15	18.5%	19	21.1%	0	0.0%
合計	172	100.0%	81	100.0%	90	100.0%	1	100.0%

図表Ⅱ－103 連携進展に必要な取組み－連携への意向（MA）

回答	企業との連携意向											
	とても連携したい		連携したい		あまり連携しようと思わない		連携しない		分からない		不明	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
企業への情報提供	21	65.6%	34	59.6%	4	22.2%	2	18.2%	16	38.1%	0	0.0%
団体と企業との交流会	16	50.0%	25	43.9%	7	38.9%	1	9.1%	18	42.9%	0	0.0%
補助金や助成金等の資金的な援助	13	40.6%	16	28.1%	3	16.7%	2	18.2%	13	31.0%	0	0.0%
連携事業に対する税制優遇	9	28.1%	8	14.0%	1	5.6%	1	9.1%	6	14.3%	0	0.0%
ノウハウの提供や研修機会の提供	15	46.9%	23	40.4%	5	27.8%	1	9.1%	13	31.0%	0	0.0%
特に支援は必要ない	0	0.0%	0	0.0%	3	16.7%	5	45.5%	3	7.1%	0	0.0%
その他	1	3.1%	4	7.0%	1	5.6%	0	0.0%	1	2.4%	0	0.0%
不明	4	12.5%	4	7.0%	3	16.7%	3	27.3%	8	19.0%	12	100.0%
合計	32	100.0%	57	100.0%	18	100.0%	11	100.0%	42	100.0%	12	100.0%

(2) 経営資源の調達活動に関する意見

NPO・地域づくり団体の経営資源の調達活動に関する意見(自由回答)を尋ねたところ、以下のような回答を得た。

	記述内容
1	地域の公園をしたところ、大雨で災害を受け多大の損失を受けた。大きな借金をし完成したが、返済に苦慮している。幸この公園を活用した「地域住民の健康づくり」には大いに利用され地域での好評を得ている。支援を受ける方法あれば幸甚です。
2	企業と連携する場合の資金の支援の内容：手弁当のボランティアとはいえ、せめて事業のアゴ、アシ代を出せるくらいの金額
3	企業様に賛助会員となっていただき、その会費で防災活動の支援を行っている。しかし、防災活動を行う住民の意識は低く、市内全域が防災活動に取り組むようになるまで、道は遠いと考えている。防災活動が盛んになればなるだけ、企業の認識が高くなり、賛助会員に入会してもらえる率も高くなると考える。地域づくりは、地域づくりに対する住民の意識の高さが最も重要であり、行政、関係団体の職員は、積極的に地域に出掛け、住民説明の機会を作り、住民意識の向上に取り組まれることを望む。そうすることで経営資源の調達活動をやり易くするものと考えている。
4	経営資源のヒト⇒人数は少ないから、うまく流れていっている。 経営資源のカネ⇒カネを生み出す人(指導者)はいるが、それを生かせる施設や交流する場所が無い。クラブハウスになる企業の空きスペースや空き店舗を提供してもらえるなどの情報が欲しい。
5	会員向けに協力依頼の他、企業へのお願いにも行こうとしていますが、事業の準備もあり、とにかく人手が足りないという現状。資金が足りないためスタッフを雇用できない。クラウドファンディングなど、新しいことにもチャレンジしたい。行政との連携事業では、自治体で取れる補助金を積極的に取れるようにしたい。
6	活動を広めるにしても人材不足が一番の問題です。今後、活動していくにしても人がいなければ難しい点があります。助け合い活動でもボランティアの人が高齢化してきているので大変難しいところがあります。たとえ資金があっても人はお金では集まりません。心ある人をとっても難しいですね。
7	重要性からして、専任者をおくべきだろうと思いますが、よい適任者が見つかっていません。現状の者で兼任となるので、日常業務に埋沈し、なかなか取組めていないのが実状です。人材発掘方法のよい手立てがありましたら知りたいです。
8	地方創生につなげていくには、大きな視点、施策が必要 人のとり合いは限界アリ。例えば大手小売店とタイアップしてファッションタウンを作り、若者特に女性を集め、それを求める男性が集まる形をとるとか・・・
9	・助成金、補助金等が、申請する団体にも収入として入るような仕組みが欲しい。ボランティア団体では、さまざまなことを実施すればするほど忙しくなり、資金も必要となる。 ・事務局に対する補助金が支給されると良い。
10	指定管理者としての活動であり、住民福祉と地域活性化を図る目的から町の助成金が不可欠であるが、補助金の削減が顕著になり、今後は活動が行き詰まる恐れもあり、経営資源の調達が課題になることが明らかな状況となっています。
11	地域が目的意識を持って連携。その為には御社(法人)等のアドバイスが必要。
12	当団体の会員は、市内のNPO法人ですが、よく話に出るのは、一時的に関わる人的支援ではなく、活動に共感し、共に活動に参加してくれる会員として、企業の方々が参加が増えて欲しいという想いがあります。
13	ノウハウ、ナレッジの所在等情報提供、と支援のしくみが活用できたら良い

記述内容	
14	<p>当方については、現在、組織については、中途半端な状況でありアンケート調査の対象としては対象外の位置であると考えています。とりあえず回答は提出しますが、充分でないのでご容赦下さいますよう宜しくお願いします。</p>
15	<p>企業との連携で、希望する人的支援の人数、支援を希望する物品、資金の金額は、連携内容による。</p>
16	<p>私たちがオリジナルで制作した田舎暮らし、スローライフの魅力を表現したタペストリーの個展をしたい。それには、都会の1ターナー者をターゲットに各地に出かける資金が必要。主旨を理解して下さる企業へのパイプ役を是非貴財団にお願いしたいものです。P. S. 活動歴H4～以来25年間のふるさと讃歌のタペストリーを所持している。</p>
17	<p>地域づくりのための事業を行うには、ヒト・モノ・カネといいますが、お金がなければ前に進むのも困難であり、資金調達は永遠の課題であります。あるもので工夫や協力を頂きながら活動してきましたが、活動拠点である体育館が老朽化し、年々使えなくなる恐怖に耐えながらの活動には限りがあります。地域のために貢献したいという思いをカタチにするためには、頑張っけて寄付金を集めることが大事であることによく気がつきました。現在、たくさんの地域の方々を支えられ活動できていることに感謝しつつ、新たに企業や行政への働きかけにも力をいただき、新たな支援者を増やしていきたいと考えています。</p>
18	<p>収益事業を伸ばして、その稼ぎで収益性の低い地域づくり事業に資源（人、お金、情報）を投入できるよう尽力してきているが、それも限界を感じる。もう少し社員の所得を上げていかないと、持続可能ではない現状に焦りを感じています。</p>
19	<p>介護報酬改定により経営的に厳しい状況にある。人材もなかなかそろわず、今後不安もある。企業に援助して頂き、経営が維持でき、地域貢献できればと考える。</p>
20	<p>用途が特定されない資金。特に、人件費に充てる資金。</p>
21	<p>日時等を調整していただければ出向いて、口頭で回答する</p>
22	<p>長期的には、持続可能な組織を運営すること。短期的には収益バランスを常に考えること。情報提供も大事だが、団体によって目指す組織運営は違うと思う。求める団体に必要な支援が本当の平等だと思う。（団体も優先順位をはっきりつけること）</p>
23	<p>現在、準備段階なので、未だ実際の活動はしていないので、回答でない設問が多数ありました。申し訳ございません。</p>
24	<p>助成金欲しさの活動ばかりが目立つ。助成金を使うのが悪いことではないが、何故か欲しさだけの活動になっているように思える。4年前に宿泊のために助成金を受けようとしたが、個人には無理でした。1ターンの自分としては地域活性化に繋いでいきたいと思っていましたが、ダメでした。宿泊施設を使用して高齢者の憩いの場を設けたかったのですが…。</p>
25	<p>わがNPO法人は、独自の視点で地域の活性を望む有志が集って立ち上げたNPO法人です。世界に誇れる地域の宝を国内外に発信することにより、外国人観光客、国内からの観光客を誘致し、知名度の低さからの脱却を図る意図で進んでいます。会費のみの手作りから始まったNPOですが、イベントを重ねることにより、新しい発見やアイデアが出てきます。立ち上げから1年未満で2つのイベントを行い、活発な活動を行っています。より多くの活動資金があれば、さらに多くのイベントを行い、知名度のアップや誘客を図ることに貢献したいと思います。</p>
26	<p>・企業からの資金については、日本的にはまだ醸成（理解）されておらず難しい。 例：「NPO等非営利活動援助促進法」があればよい 現在ではなく、行政に頼らざるを得ない。 ・民間助成団体の助成金の募集について引き続き情報提供をいただきたい。また、申請書の作成について助言いただければ、なおありがたいです。</p>

	記述内容
27	売上金に余裕ができれば、手間賃を支払う程度。年間3~5万円を5~6名に支払う。
28	ボランティア会員も参加料を持って（負担して）運営している
29	行政サイドの推進プログラムでなく、こうしたアンケートにより、民意を活かしたプログラムの推進は妥当であり、行政と民間の差であるスピード感が必要だと思える。公的資金を有効に使うため、予算消化ではなく必要とされるものへの重点的施策を望んでいる。
30	設立半年なので、計画どおりに進むか不明であるが、1年経つと拡大の規模が判断できる。その際、支援を受ける金額等が定まると思われる。
31	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題においては様々な分野があるが、それぞれの分野に対する援助を実施する企業が実際にあるのか、どこに存在するのかという情報の提供が必要。 ・NPO、地域づくり団体に対し、補助金や助成金など資金的な援助を行った際の税の控除の創設。
32	障がい者を支援する事業所なので経営資源の調達といえば、事業所でできる内職等の仕事の確保です。もちろん、人材育成等も重要ですが、利用者の工賃向上に向けて企業との連携がうまくできれば良いが、企業も算盤を見ながら腰を上げるので、なかなか思うようにいかないところもあり、財団の仲立ちが重要になってくると思う。地域の企業とうまくマッチングできれば、地域全体も活気づくと思います。
33	補助金や助成金で里山保全に取り組んでいるが、人件費の無いものや、あっても50~70%のものが多く、また、会員は無償で活動しており賃金がないものがほとんどである。そのため、持ち出しが多く苦勞している。
34	町単独の自治組織（公民館単位）への補助事業が大きな支えになっている。
35	企業のご意見を伺う機会が少ないため、連携の拡大が企画できない。
36	役員が非常勤無報酬のため、今後、報酬を拠出して運営したい。
37	非営利団体の経営について、とても参考になるのが、少し古い本ですが、ドラッカーの「非営利組織の経営」があります。NPOにとって、賛助会員・会費の増加、寄付金の増加は、活動に対する理解の進捗・深度のバロメーターとなります。
38	<ul style="list-style-type: none"> ・介護系NPOとしては、今後想定される財源不足による介護報酬の引き下げによる制度改悪で将来への不安をいただく。 ・収入源の柱である介護保険事業収入が減少すれば、従来から取り組んでいる地域貢献活動（赤字）を見直さざるを得ない（助け合い活動、高齢者サロン、福祉有償移動サービス、子供の預かり など）
39	地域特産物の製造、販売に関する製造ノウハウ、販路、販売方法等を知りたい。何を特産物にするか、計画は定まっていない状況である。
40	設立後10年を経過し、会員の高齢化と家の賃借関係で今年で終了する。但し、田舎暮らし体験施設、U I ターン向けに貸しても良い。
41	アンケートする前に、（話を）聞きに来てください。大歓迎！
42	事務処理のサポートをしていただくと助かります。思考や行動を同一する方々との出会いがあれば良いですね。財務は報告していますので、ご覧ください。
43	現在の「人・モノ・カネ」で出来ることから始めます。「情報」は最大限に発信し、また収集します。補助金はより良くするためのプラスアルファで考えています。まずは、自力で出来ることから。
44	NPO法人の活動として、平成28年度まであまり活動しておらず、3月より新規事業の予定をしております。アンケートの内容不備なところもございます。